



brother

LAINAGE

レナージュ

コンピュータミシン
ZZ3-B833

取扱説明書

レナージュってこんなミシン。

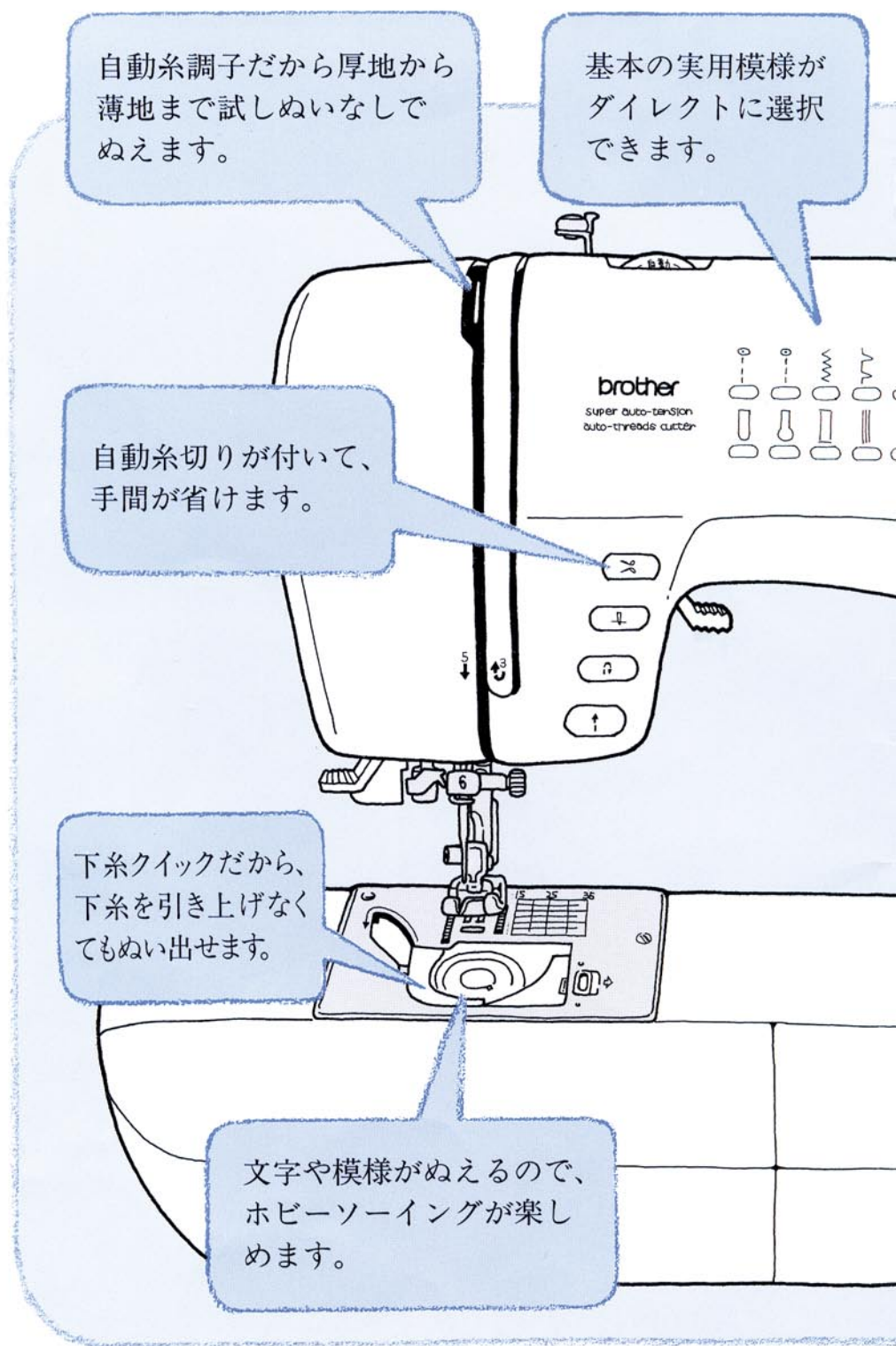
自動糸調子だから厚地から薄地まで試しぬいなしでぬえます。

基本の実用模様がダイレクトに選択できます。

自動糸切りが付いて、手間が省けます。

下糸クイックだから、下糸を引き上げなくてもぬい出せます。

文字や模様がぬえるので、ホビーソーイングが楽しめます。



●ごあいさつ

お買い上げまことにありがとうございます。

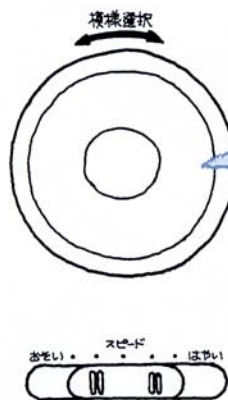
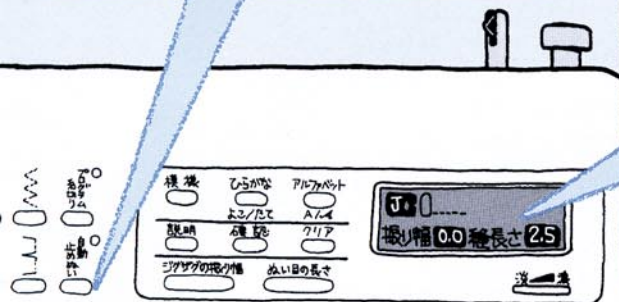
この製品の素晴らしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

自動的にぬい始めとぬい終りのほつれ止めをします。

- バックライトがついて、明るく見やすくなりました。
- ぬい模様、ソーイングガイド、エラーなどがパターンとメッセージで、ディスプレイに表示されます。

文字や模様が、模様選択ダイヤルとセットキーで簡単に選べます。



ミシンのお取り扱いに ついてのお願い

■安全にご使用いただくために……

1. ミシンの操作中は、針から目を離さないように
しましょう。フーラー、天びん、針などに手を
触れないでください。
2. 次のようなときは、必ず電源スイッチを切り、
コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 使用後 ● 部品の取り付け、取りはずしするとき
 - 運転中に停電したとき ● 手入れをするとき
 - ミシンのそばを離れるとき
3. フットコントローラーの上に物を置くのはやめ
ましょう。
4. たこ足配線は危険ですからやめましょう。

■末永くご愛用いただくために……

1. 保管するときは、直射日光のあたる所や湿気の
多い所をさけてください。また、ストーブやア
イロンなどのそばでのご使用はおやめください。
2. 汚れは中性洗剤などで軽くふき取り、ベンジ
ン・シンナー・みがき粉は絶対に使用しないで
ください。
3. 落としたり、ぶつけたりなどの衝撃は禁物です。
4. ミシンのセットや押え、針の交換などは《取扱
説明書》を参考に、正しく行ってください。

■修理、調整について……

万一故障が生じたり、不調のときには、トラブルチ
ェック（P47～48）にならって、点検・調整を行っ
てください。それでも調子が悪いときには、お買い
上げの販売店または最寄りのブラザー販売店にお
申し付けください。

● 目次 ●

各部の名称とはたらき	1~2
------------	-----

基本操作

下糸巻き/下糸セット	3~4
下糸のセットのしかた	4
上糸通し	5~6
ぬってみましょう	7~8
ディスプレイの見方	8
説明キー	8
模様の選び方	9~18
模様選択ダイヤルの使い方	10
基本実用	11
模様	11~13
ワンポイントの選び方	11
飾りの選び方	12
サテンステッチの選び方	12
クロスステッチの選び方	13
実用の選び方	13
ひらがな	14
くよこがき/たてがき)の切り換え	14
アルファベット	15
くブロック体/筆記体)の切り換え	15
まちがえたとき	16
組み合わせた文字を確認したいとき	16
文字や模様をきれいにぬうためには	17
模様調整	18
振り幅、ぬい目の長さ調節	19
糸調子の合わせ方	20
押え交換	21
針交換	22
プログラム糸切り	23
自動止めぬい	24

実用ぬい

覚えておくと便利	25~26
■厚地のぬい方	■段ぬい
■薄地のぬい方	■カーブぬい
■伸びる布のぬい方	■針板の使い方
■角ぬい	■フリーアーム
地ぬい	27
ファスナーつけ	28
ジグザグ	29
たちめかがり	30
ボタン穴かがり	31~32
まつりぬい	33
アップリケ	34
飾りぬい(ファゴティング)つき合わせ	35
スカラップ	36
かんどめ	37~38
ダーニング	39~40
アイレット	41
しつけ	42

その他

ランプの交換	43
お手入れ	44
ぬい方早見表	45
エラー/メッセージ表示・電子音	46
トラブルチェック	47~48
模様一覧	49~50

各部の名称とはたらき

ハンドル

下糸巻き案内

糸こま押え

上糸調子ダイヤル

糸通しレバー

糸切り

ボタン穴かがり用切換レバー

押え

送り歯

針板ふた

下巻き装置

実用選択ボタン

ディスプレイ

プーリー

ディスプレイ

濃度調節レバー

模様選択ダイヤル

セットキー

スピード

コントロール

レバー

C

ランプスイッチ

電源スイッチ

フットコントローラー

(別売り)用ジャック

赤印

電源

ランプ

入

切

※電源コードの赤印以上は引き出さないでください。

※電源コードをしまうときは、少し（1cm～5cm）引っぱってから離してください。

D

収納補助テーブル

①ボタン穴かがり押え<A>

②片押え<I>

③ジグザグ押え<J>収納位置

④模様ぬい押え<N>

⑤まつりぬい押え<R>

⑥裁ち目かがり押え<G>

⑦ボビン

⑧ミシン針

⑨リッパー

⑩ドライバー

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

※ボビンは、専用ボビン（部品コードX80309-001）です。

※付属品は、必ず専用付属品をご使用ください。

★印は空スペースです。付属部品などはありません。

1

A 選択キー

模 様	ひらがな	アルファベット
説 明	よこ／たて	A / Z
	確 認	ク リ ア
ジグザグの振り幅	ぬい目の長さ	

(模様)キー

ワンポイント、飾り、サテンステッチ、クロスステッチ、基本実用以外の実用模様をぬうときに用います。

(ひらがな)キー

ひらがなをぬうとき、よこがき／たてがきの切り換えをするときに用います。

(アルファベット)キー

アルファベットをぬうとき、ブロック体／筆記体の切り換えをするときに用います。

(説明)キー

実用模様を選んだ後でその用途を知りたいときに用います。

(確認)キー

組み合わせた文字を確認したいときに用います。

(クリア)キー

選んだ模様や文字を取り消したいときに用います。

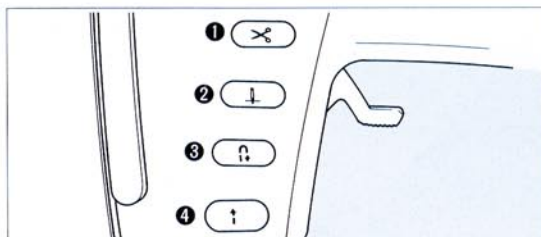
(ジグザグの振り幅)マニュアルスイッチ

ジグザグの振り幅(模様の幅)、または針位置を調節するときに用います。

(ぬい目の長さ)マニュアルスイッチ

ぬい目の長さを調節するときに用います。

B 操作スイッチ



①糸切りスイッチ

上糸、下糸を自動的に切ります。

②針上下スイッチ

針の位置が上下に切り換わります。

※繰り返し押すと1針ぬいができます。

③返しぬいスイッチ

スイッチを押している間は返しぬい(止めぬい)を低速で行います。

返しぬい……逆方向にぬいます。

止めぬい……同じ場所で3針ぬって自動停止します。

※別売りのフットコントローラーを使用時は、低速にはなりません。

④スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

※スイッチを押している間は、低速でぬいます。

※ミシンを停止させると針は下位置で止まります。

付属品



ミシン針

黄 針…#11 2本
赤 針…#14 2本
緑 針…#16 1本
ゴールドテン針…#11 1本
(ニット刺しゅう用)



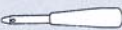
ハサミ



ミシンブラシ



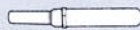
ドライバー



ハトメバッチ



ボビン(4個)



リッパー



糸こまえ押え(大)

※糸こまえ押え(小)は、ミシンの糸だて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

別売り

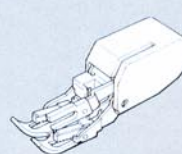
※最寄りのブラザー販売店でお求めください。

●フット コントローラー (MC-291)



部品コード
141-291-036-01

●ウォーキング フット



部品コード
184961-001

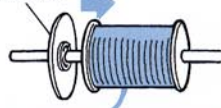
下糸巻き/下糸セット

下糸巻き案内に順序よく

2

糸こまを糸が手前から出るようにセットします。

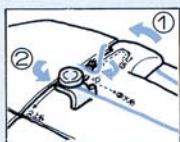
糸こま押え



※糸こま押えは、奥までいっぱい差し込んでください。

3

下糸巻き案内に。



7

スタート。
巻き終わるとボビンの回転は止まります。
ストップしてください。

6

スピードコントロールレバーを“はやい”方に。

8

下糸を巻き終わったボビンをセット。

▷ご注意

- ・下糸巻き中、実用選択ボタン、選択キー、返しぬいスイッチ、針上下スイッチ、糸切りスイッチを押すとミシンは停止します。

糸をかけます。

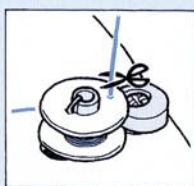
ボビンの穴に糸を通し、ボビンを軸にセットし、右へ。巻き終わったら左へもどします。



下糸巻き軸ばね

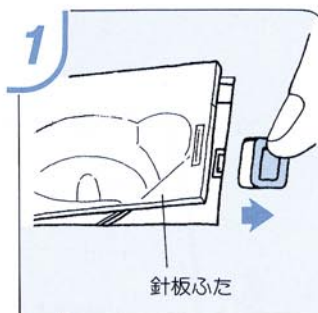
※みぞと下糸巻き軸ばねを合わせます。

糸端を持ち、スタート/ストップスイッチを押して少し巻いたら、ミシンをいったん止めて糸端を切ります。

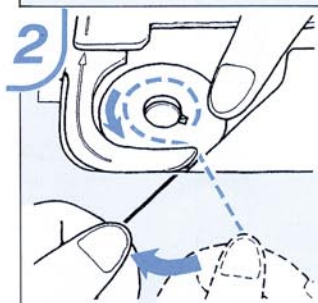


1 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

下糸のセットのしかた



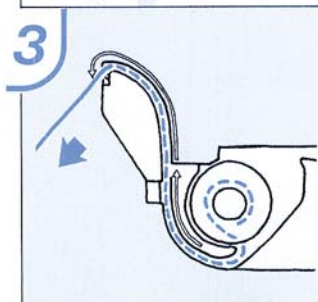
針板ふたをはずします。



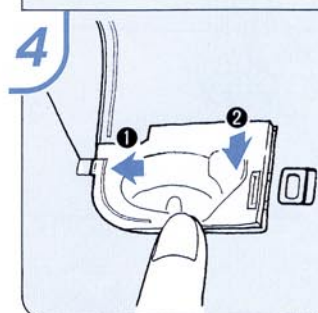
矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットします。

※専用ボビンをお使いください。

〔部品コード：X80309-001〕
ボビンが5個セットになっています。



糸端を持ち、ミソにそって糸を引き出しながら通し、手前に引き、糸を切ります。

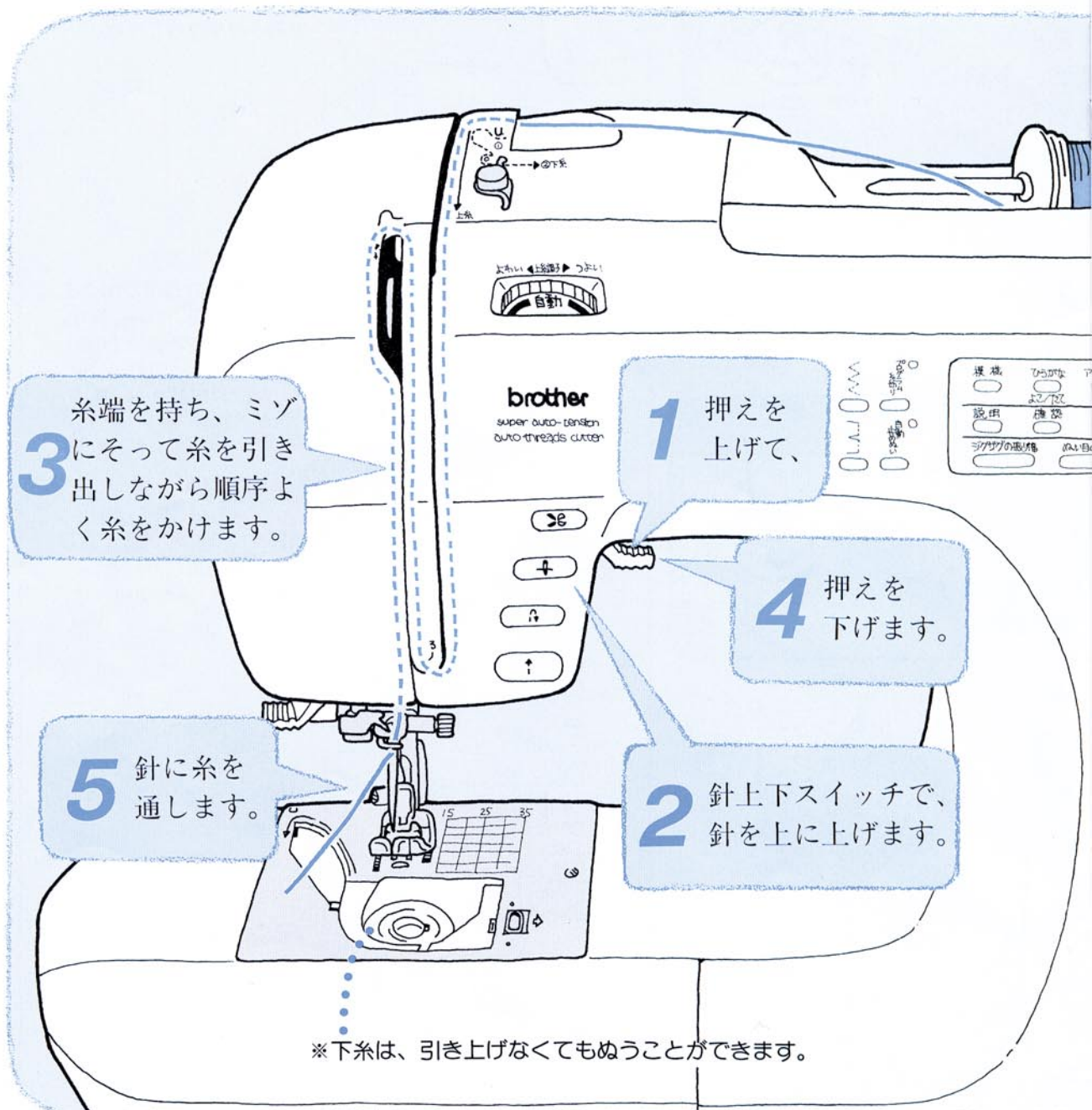


針板ふたをセットします。

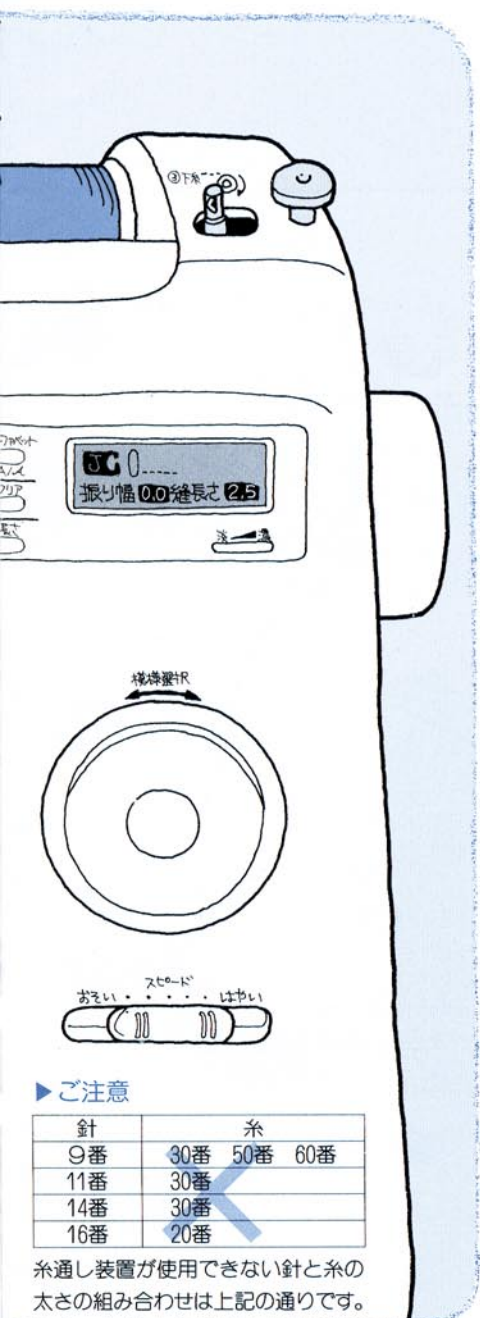
※下糸を引き上げなくても、そのままぬい出せます。

上糸通し

番号と矢印に従って糸を



かけます。

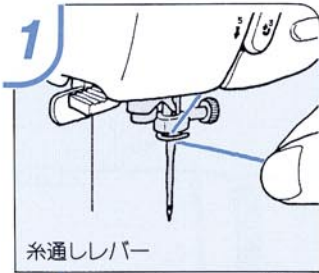


▶ご注意

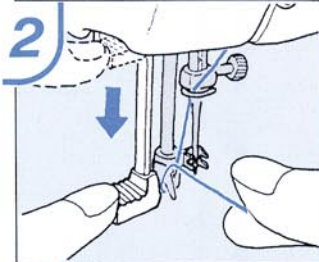
針	糸
9番	30番 50番 60番
11番	30番
14番	30番
16番	20番

糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは上記の通りです。なお、ナイロン透明糸は上記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

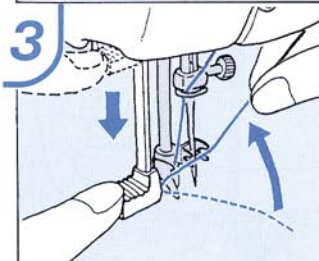
糸通し装置で針に糸を通します。



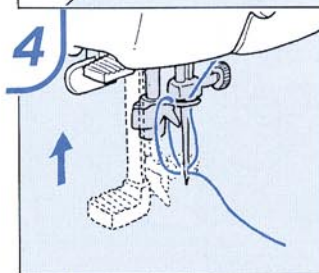
糸を手前に軽く引きます。



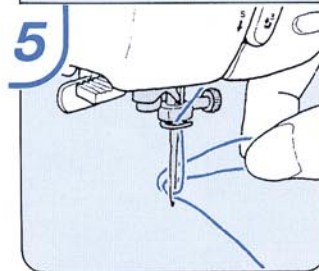
糸通しレバーを下まで下げ、糸がガイドにかかっていることを確認して、針穴にフックが通った状態にします。



糸をフックにかけます。
・糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



糸を軽く持ちながら糸通しレバーを上げます。



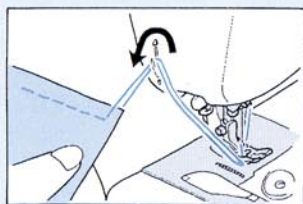
上糸をうしろへ引き出します。

ぬってみましょう

布地を入れてぬってみま

4 糸を切ります。

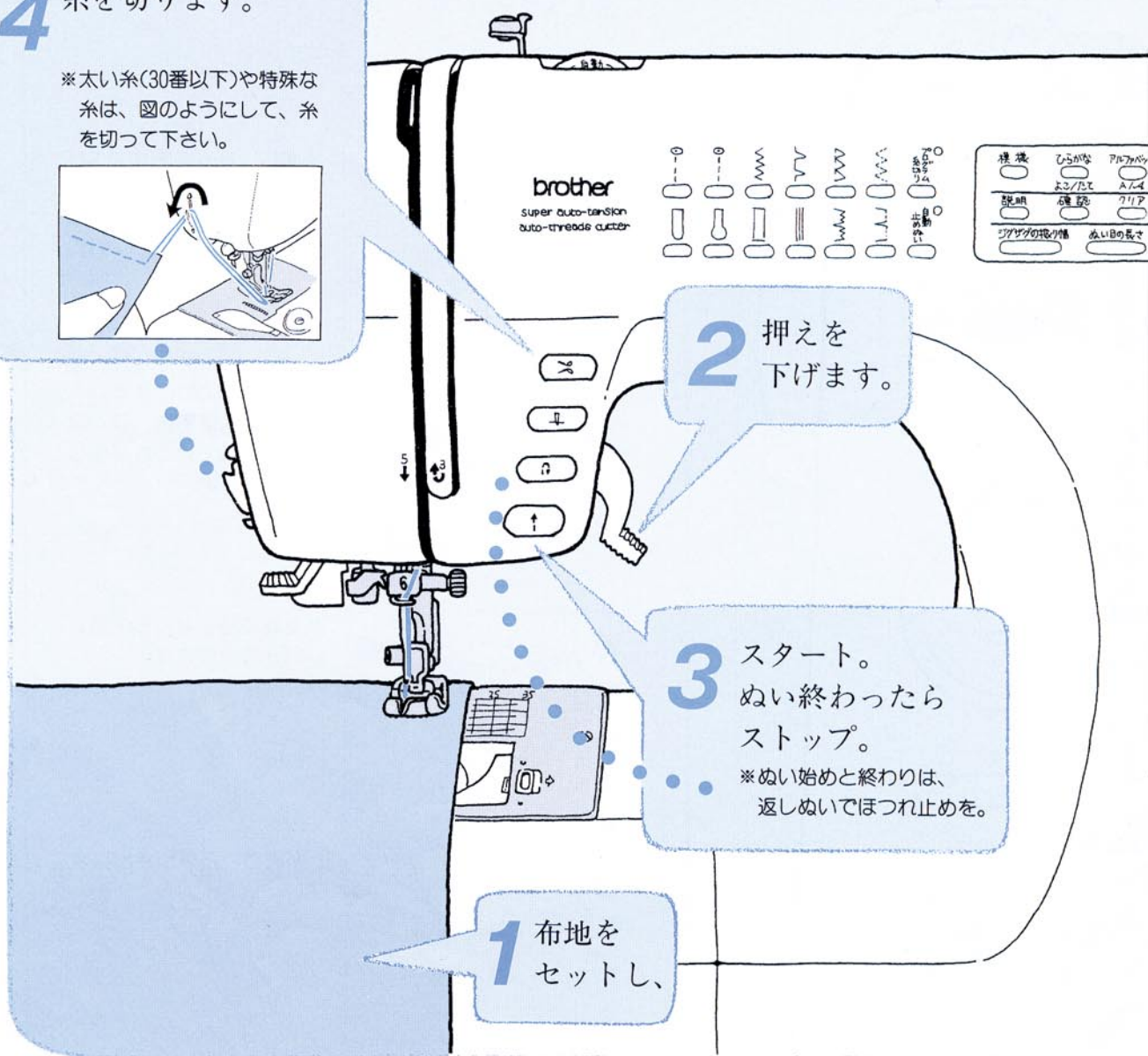
※太い糸(30番以下)や特殊な糸は、図のようにして、糸を切ってください。



2 押えを下げます。

3 スタート。 ぬい終わったら ストップ。 ※ぬい始めと終わりは、 返しぬいでほつれ止めを。

1 布地を セットし、



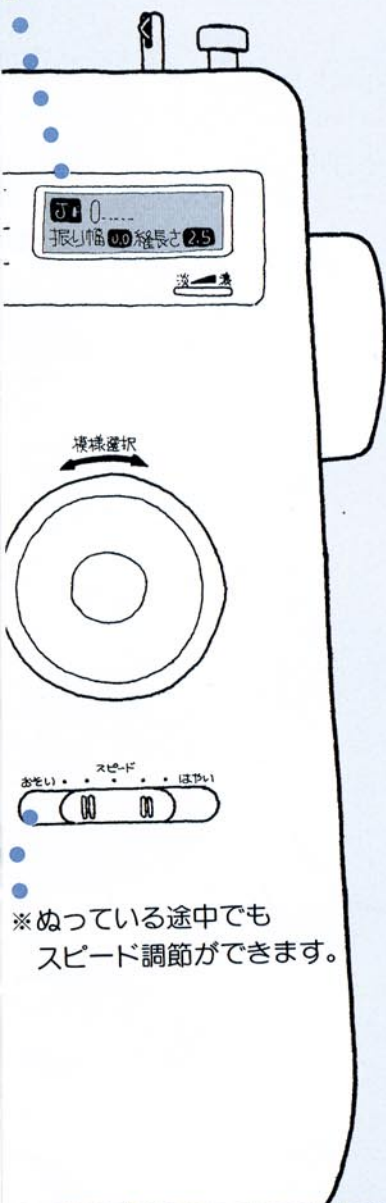
brother
super auto-tension
auto-threader/cutter



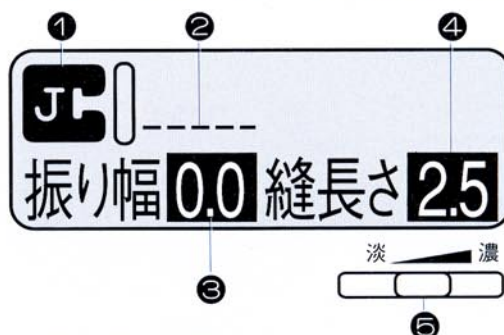
機能	ひらがな	アルファベ
説明	ふく/たて	かん/め
ジグザグの幅/幅	ぬい目の長さ	

しょう。

電源を入ると〈直線ぬい〉が表示されます。



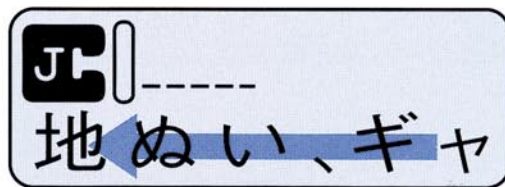
ディスプレイの見方



- ① 押えの記号を表示します。
(この記号の押えに取り替えます。)
- ② 指定した模様を表示します。
- ③ ジグザグの振り幅または針位置を表示します。通常は白ヌキ文字で最適な振り幅が表示されます。マニュアル(指定した数値)にすると、指定した振り幅が黒文字で表示されます。
- ④ ぬい目の長さを表示します。通常は白ヌキ文字で最適なぬい目の長さが表示されます。マニュアルにすると、指定したぬい目の長さが黒文字で表示されます。
- ⑤ 画面の濃さを調整します。

選んだ実用模様の用途を知りたいときは、
説明 キーを押します。

模 様	ひらがな	アルファベット
	よこ/たて	A/A
説 明	確 認	ク リ ア
ジグザグの振り幅	ぬい目の長さ	



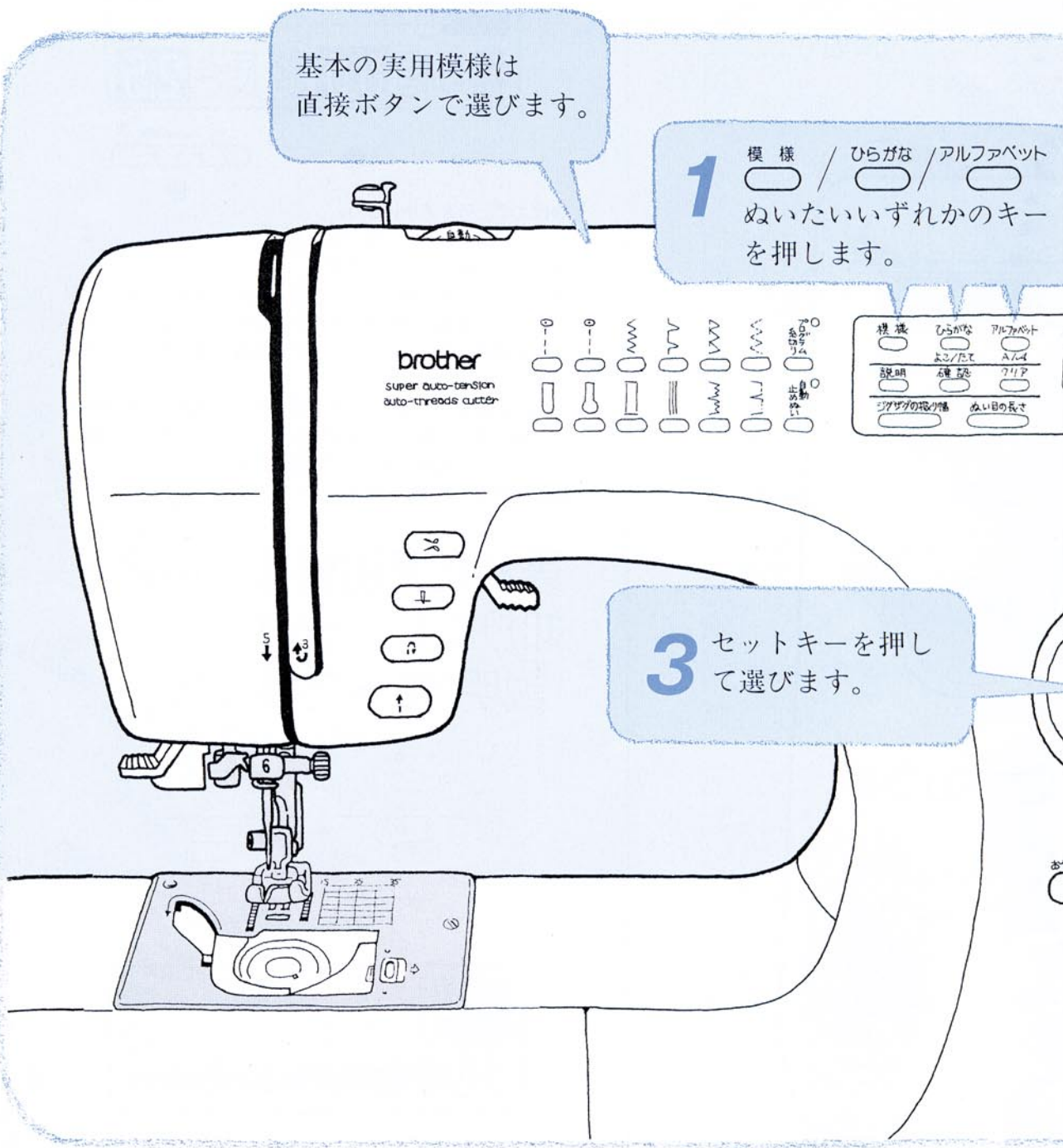
ディスプレイに内容がスクロール表示されます。

模様の選び方

模様選択ダイヤルとセットキー

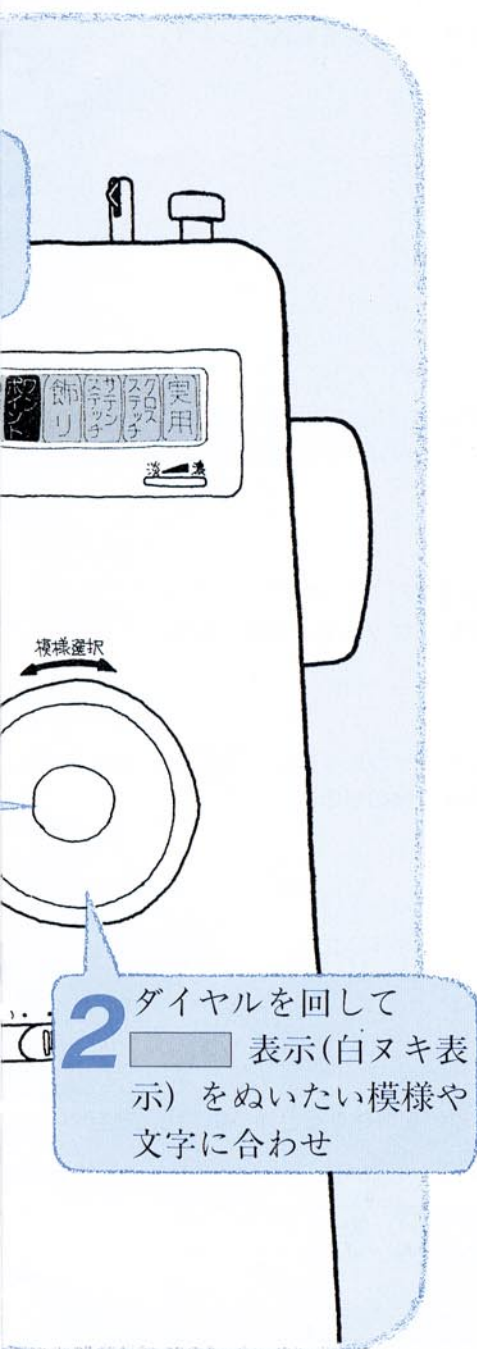
基本の実用模様は
直接ボタンで選びます。

1 模様 / ひらがな / アルファベット
ぬいたいいずれかのキー
を押します。

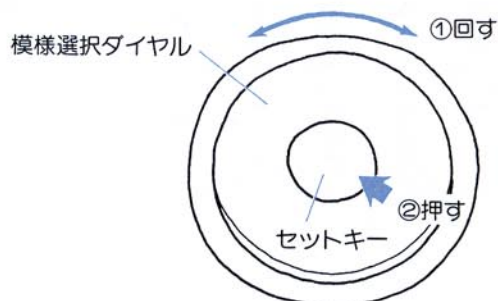


3 セットキーを押して
選びます。

で簡単に選べます。

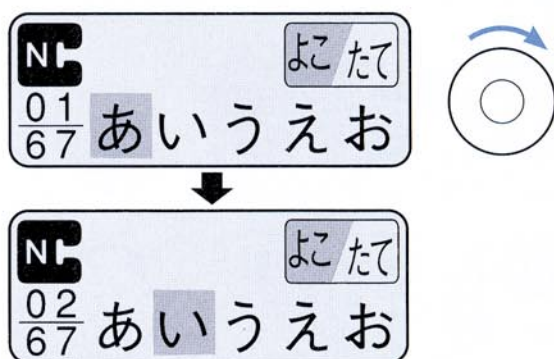


模様選択ダイヤルの使い方

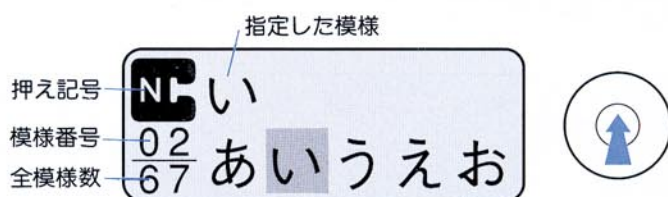


(例) ひらがな キーを押したとき

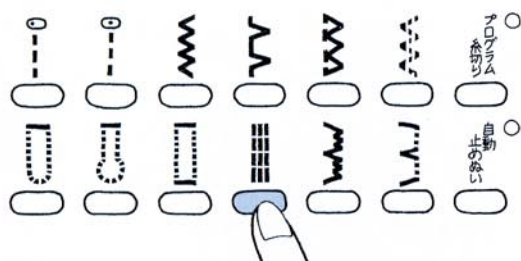
①ダイヤルを回すとディスプレイの [] 表示が移動します。 [] 表示をぬきたい文字や模様に合わせて。



②セットキーを押すことによりその模様や文字が選ばれます。




基本実用





ぬいたい模様のボタンを直接押します。

模様 (模様) キーを押します。

●ワンポイントの選び方(例) 

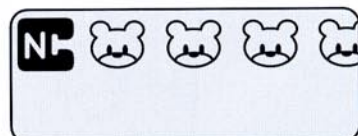


1  表示が **ワンポイント** にあることを確認し、セットキーを押します。

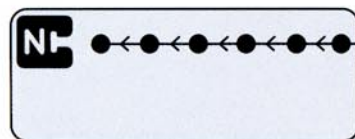
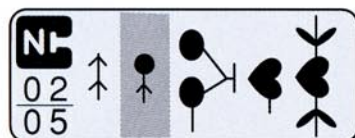
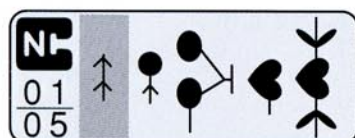
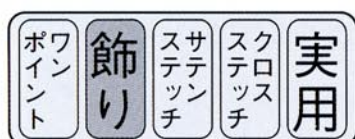
2 模様選択ダイヤルを回し、 表示をぬいたい模様に合わせます。


3 セットキーを押します。


※自動止めぬいを解除すると連続縫いができます。
(P.24参照)



●飾りの選び方(例) ●←

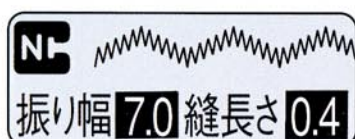
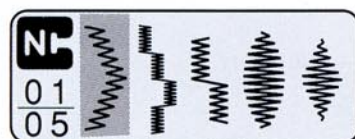
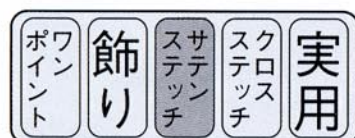



1 模様選択ダイヤルを回し、 表示を **飾り** に合わせてセットキーを押します。


2 模様選択ダイヤルを回し、 表示をぬいたい模様に合わせて。

3 セットキーを押します。

●サテンステッチの選び方(例)

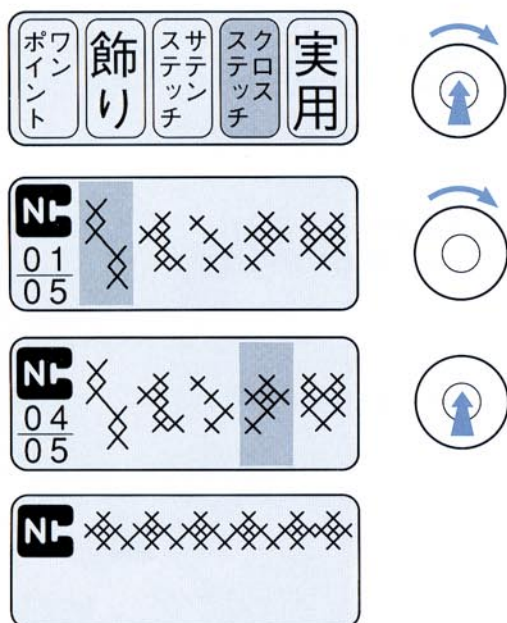




1 模様選択ダイヤルを回し、 表示を **サテンステッチ** に合わせてセットキーを押します。

2  表示をぬいたい模様に合わせて、セットキーを押します。

※ 振り幅、ぬい目の長さの調節 (P.19) 参照。



●クロスステッチの選び方(例)



- 1 模様選択ダイヤルを回し、 表示を **クロスステッチ** に合わせてセットキーを押します。
- 2 模様選択ダイヤルを回し、 表示をぬいたい模様に合わせてみます。
- 3 セットキーを押します。

●実用の選び方(例)

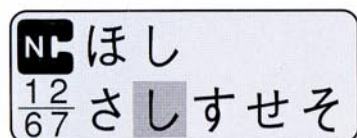
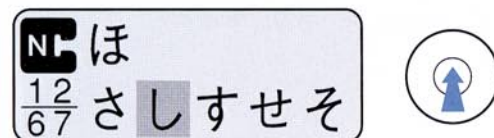
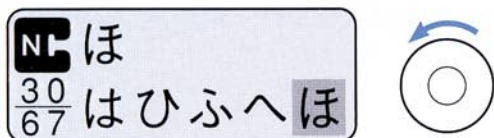
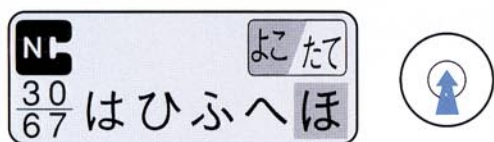
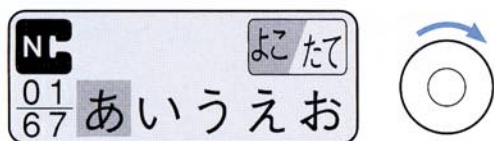


- ※基本実用以外の実用模様 8 種類が模様選択ダイヤルで選べます。
- 1 模様選択ダイヤルを回し、 表示を **実用** に合わせてセットキーを押します。
 - 2 模様選択ダイヤルを回し、 表示をぬいたい模様に合わせてみます。
 - 3 セットキーを押します。

※振り幅、ぬい目の長さの調節 (P.19) 参照。

ひらがな ひらがな キーを押します。

(例) “ほし” と組み合わせてみましょう。



1 模様選択ダイヤルを回し、ほ 表示をほ に合わせます。

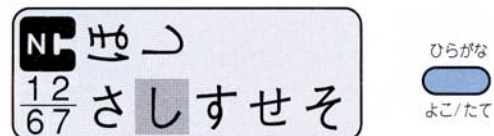
2 セットキーを押します。

3 模様選択ダイヤルを回し、し 表示をし に合わせます。

4 セットキーを押します。

※組み合わせは35文字までできます。

〈よこがき／たてがき〉の切り換え

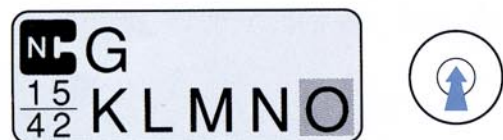
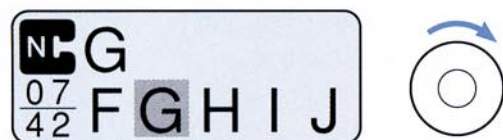
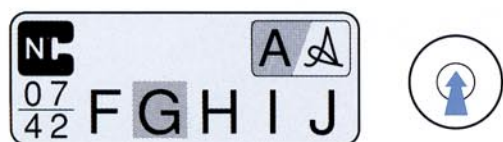
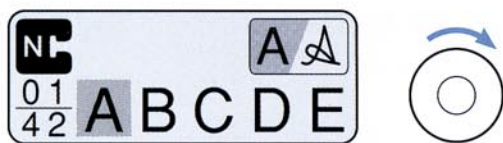




もう一度 ひらがな キーを押すと
〈よこがき／たてがき〉の切り換えができます。

アルファベット



アルファベット キーを押します。

(例) "GO" と組み合わせてみましょう。



1 模様選択ダイヤルを回して  表示を  に合わせます。

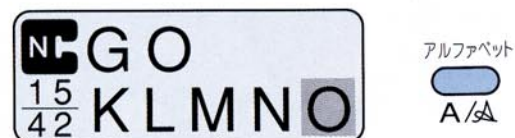
2 セットキーを押します。

3 模様選択ダイヤルを回して  表示を  に合わせます。

4 セットキーを押します。

※組み合わせは35文字までできます。

〈ブロック体／筆記体〉の切り換え



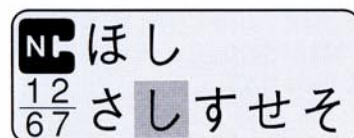
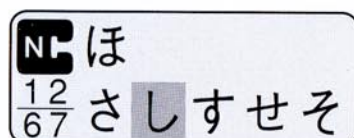
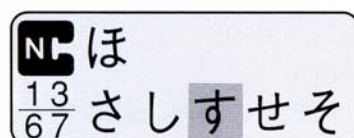
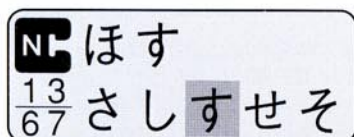
アルファベット

A/A


もう一度 **アルファベット** キーを押すと 〈ブロック体／筆記体〉の切り換えができます。

まちがえたとき

(例) “ほし” を “ほす” と入れたとき



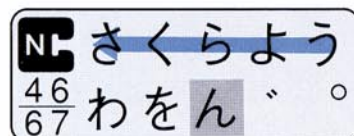
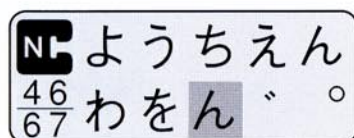
1 **クリア** キーを押します。
(まちがえた文字の数だけ **クリア** キーを押します。)

2 模様選択ダイヤルを回し、 表示を正しい文字に合わせ直します。

3 セットキーを押します。

組み合わせた文字を確認したいとき

(例) “さくらようちえん” と入れたとき




左のように表示されます。

確認 キーを押すと組み合わせた文字を始めからスクロールしながら表示します。

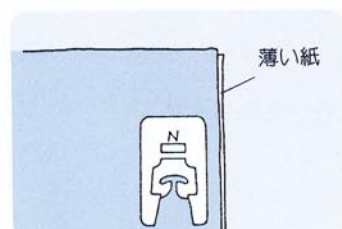
文字や模様をきれいにぬうためには

針と糸の関係

(糸の種類)	50～60番
	普通地・薄地
	家庭用ミシン針 (HA×1) 11番
	ブラザーニット・刺しゅう用ゴールデン針11番
(針の種類)	厚地
	家庭用ミシン (HA×1) 14番

※薄地や伸縮地などで目飛びの生じやすい布地にはブラザーニット・刺しゅう用ゴールデン針の使用をおすすめします。

ぬいにくい布地のとき



伸びる布地や薄地、織りの粗い布地にぬうときは、裏側に接着芯を貼ってください。

※接着芯を貼りたくないときは、トレーシングペーパーなどの薄い紙を下に敷いてぬいます。

ぬい終わったら



ぬい終わったらいらない糸（渡り糸）を切ってください。

※ぬい始めとぬい終わりは自動的に止めぬいをします。

いろいろぬってみましょう



H.K



た く や

け

ゆ



は る か

ん

う

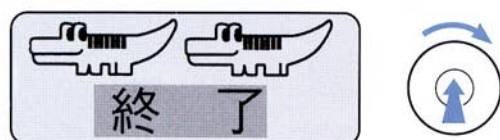
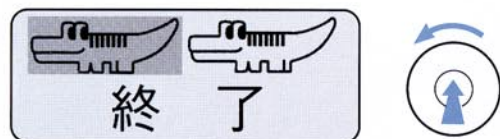
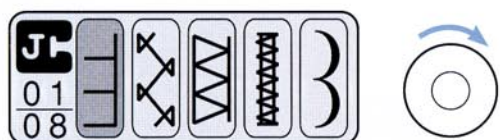
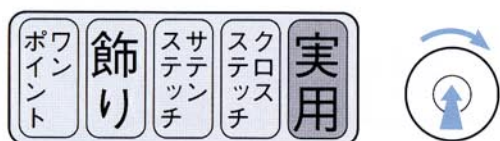


ICE CREAM



模様調整 (模様 キーを押します)

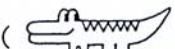
模様の形がくずれたときに調整します。

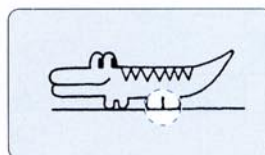


1 模様選択ダイヤルを回して ■ 表示を
[実用] に合わせセットキーを押します。

2 模様選択ダイヤルを回して ■ 表示を
[模様調整] に合わせます。

3 セットキーを押します。

4 〈N〉押えを取りつけ、ぬいます。
( がぬえます)



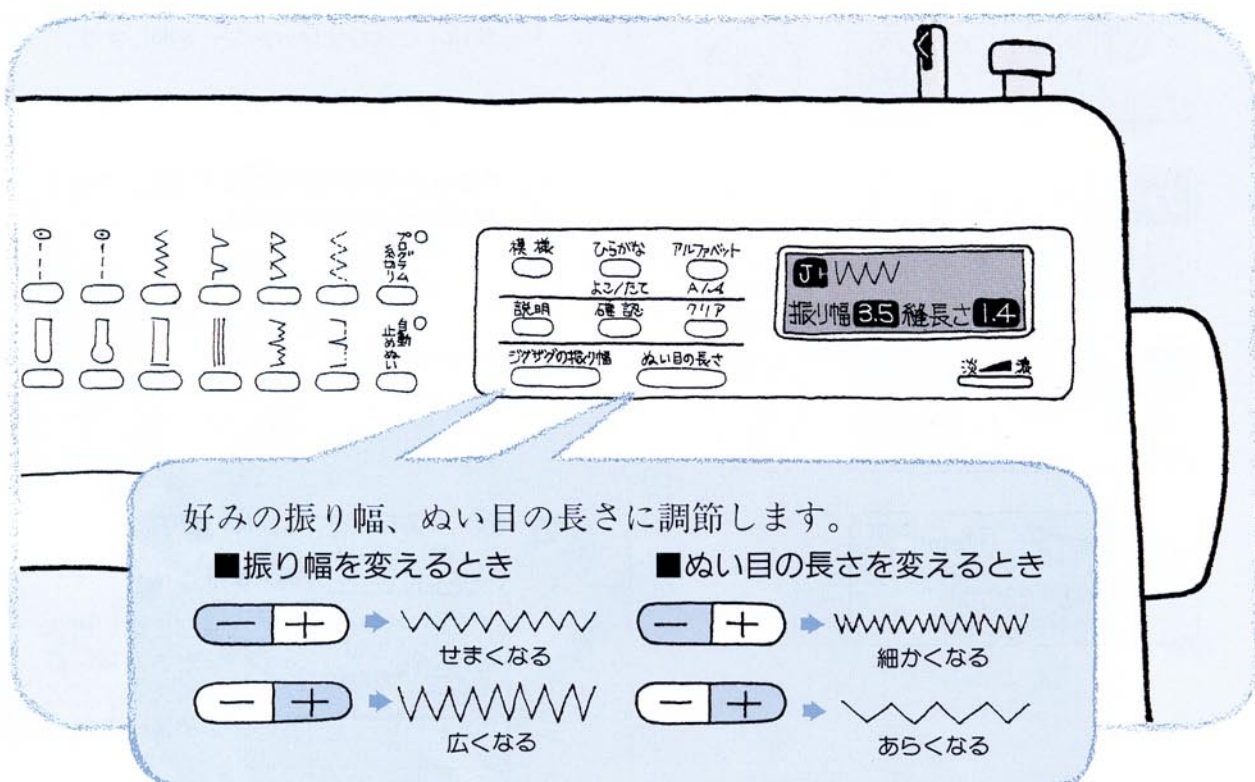
※ワニの足の大きさが同じにぬえるように調整します。

5 ぬった模様がくずれていれば同じくずれかたの絵にダイヤルを回して ■ 表示を合わせセットキーを1回押します。

6 もう一度縫製を行い模様がくずれていなければダイヤルを回し、[終了] に合わせセットキーを押します。

振り幅、ぬい目の長さの調節

ぬい目を調節することができます。



■ 振り幅とぬい目の長さの調節早見表

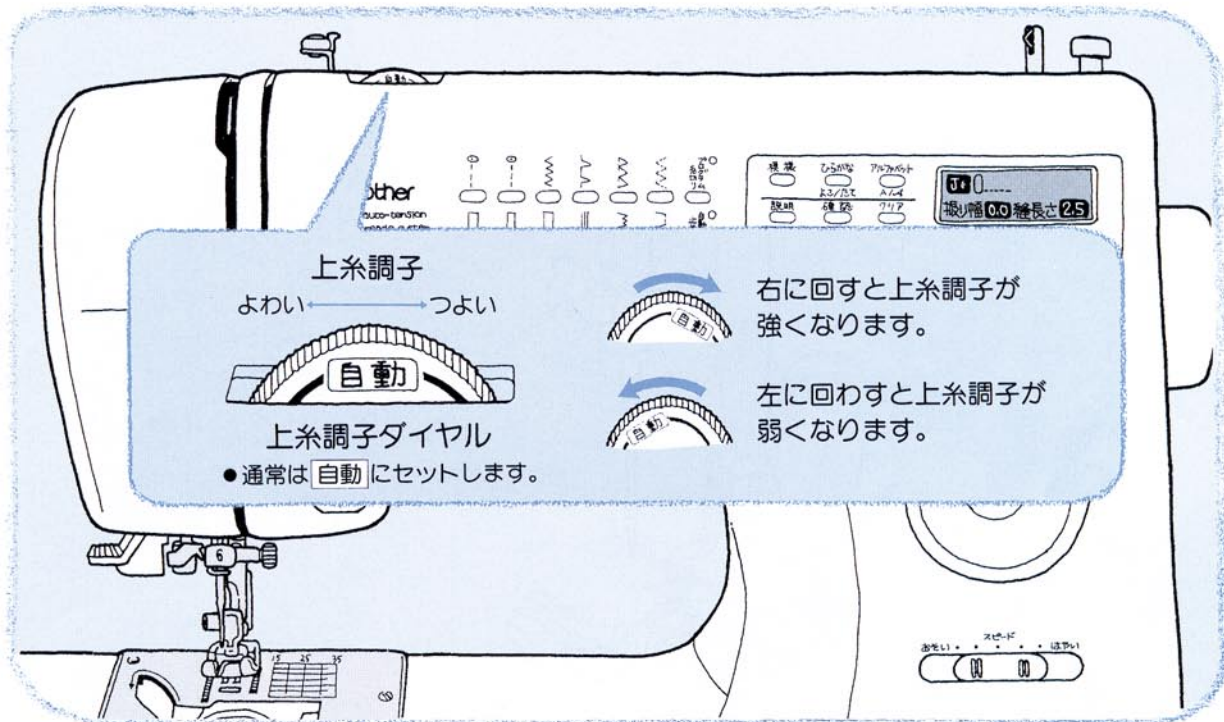
模 様		直線 (左)	直線 (中)	ジグザグ	たちめ かがり		点線 ジグザグ	ボタン 穴かがり			三重ぬい	まつりぬい		アップリケ	飾りぬい	つき合わせ	かんだめ	スカラップ	ダーニング	アイレット	しつけ
																					
振り幅	自動	(0.0)	—	3.5	3.5	5.0	5.0	5.0	7.0	5.0	(0.0)	0	0	3.5	5.0	5.0	2.0	7.0	7.0	7.0	(0.0)
	マニュアル	0.0 6.0	—	2.5 5.0	2.5 5.0	2.5 5.0	1.5 7.0	3.0 5.0	3.0 7.0	3.0 5.0	0.0 6.0	3← →3	3← →3	2.5 5.0	2.5 7.0	2.5 7.0	1.0 3.0	2.5 7.0	2.5 7.0	5.0 7.0	0.0 6.0
ぬい目の長さ	自動	2.5	2.5	1.4	2.0	2.5	1.0	0.4	0.5	0.4	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	0.4	0.4	2.0	7.0	20
	マニュアル	0.4 4.0	0.4 4.0	0.0 2.0	1.0 2.5	—	0.2 1.4	0.3 1.0	0.3 1.0	0.3 1.0	—	1.0 3.5	1.0 3.5	1.6 2.5	—	—	0.3 1.0	0.3 1.0	0.4 2.5	5.0 7.0	5 30

※ — は自動のため調節することはできません。

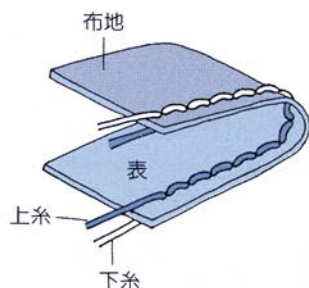
糸調子の合わせ方

糸調子を変えたいときに使います。

※通常、糸調子は布地や糸の種類に関係なく自動的に、調子が取れるようにセットされています。
 特殊な糸や素材をぬう場合やギャザーなどをする場合は、糸調子ダイヤルで調節します。
 また、サテンステッチをぬう場合は、上糸調子を弱くしてください。

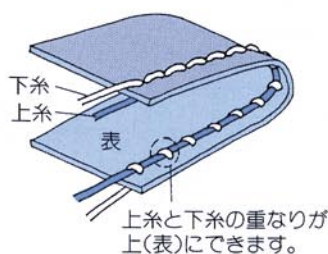


■正しい糸調子

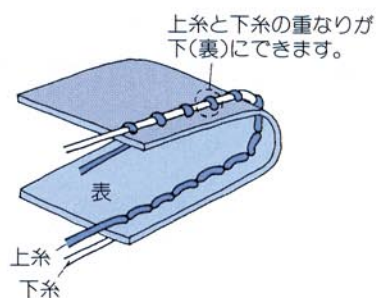


糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく布地にしわがよったり糸が切れたりします。

■上糸調子を強くすると

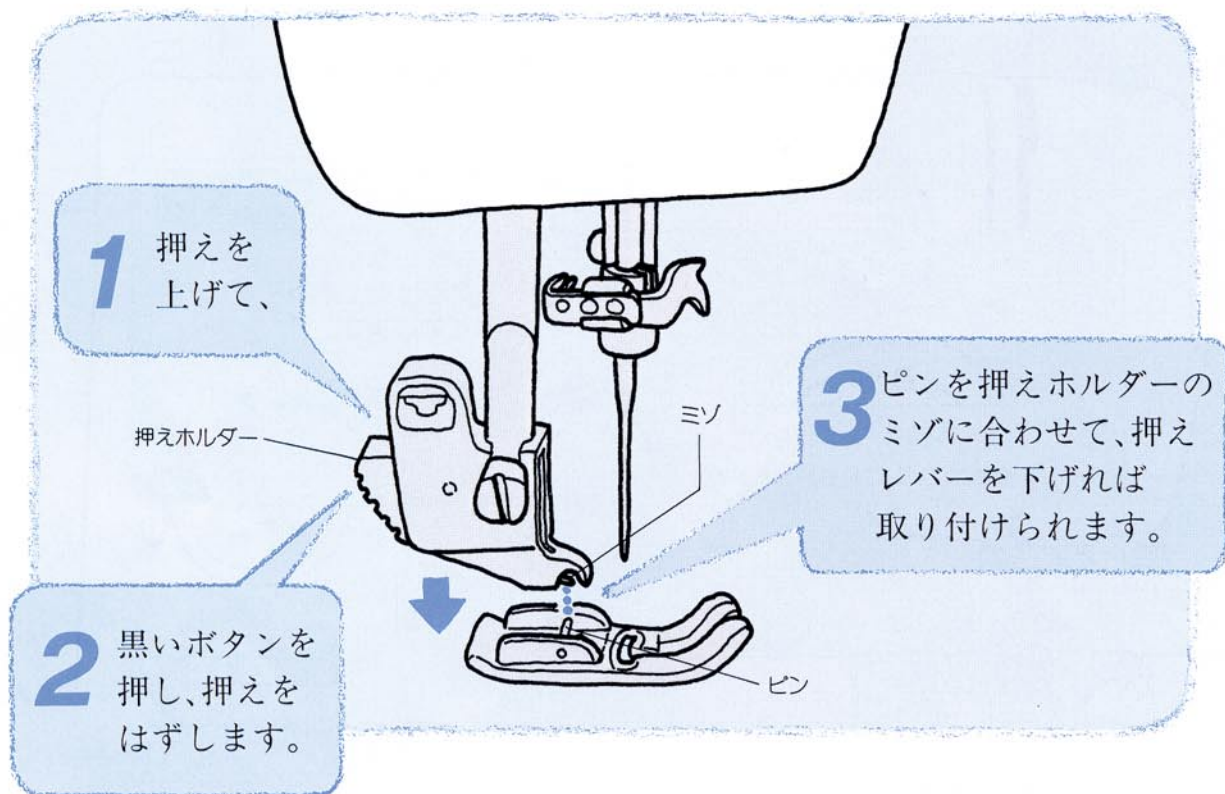


■上糸調子を弱くすると



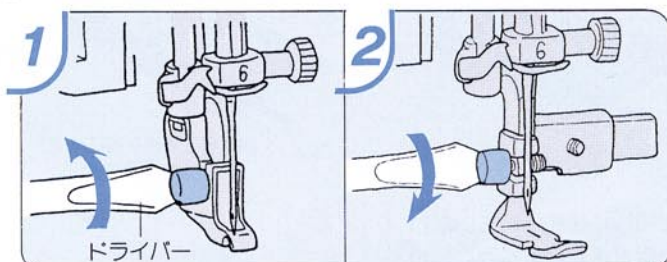
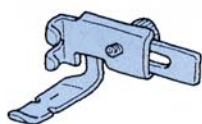
押え交換

ディスプレイに合わせた押えに取り替えましょう。



■片押え<Ⅰ>の取り替え方

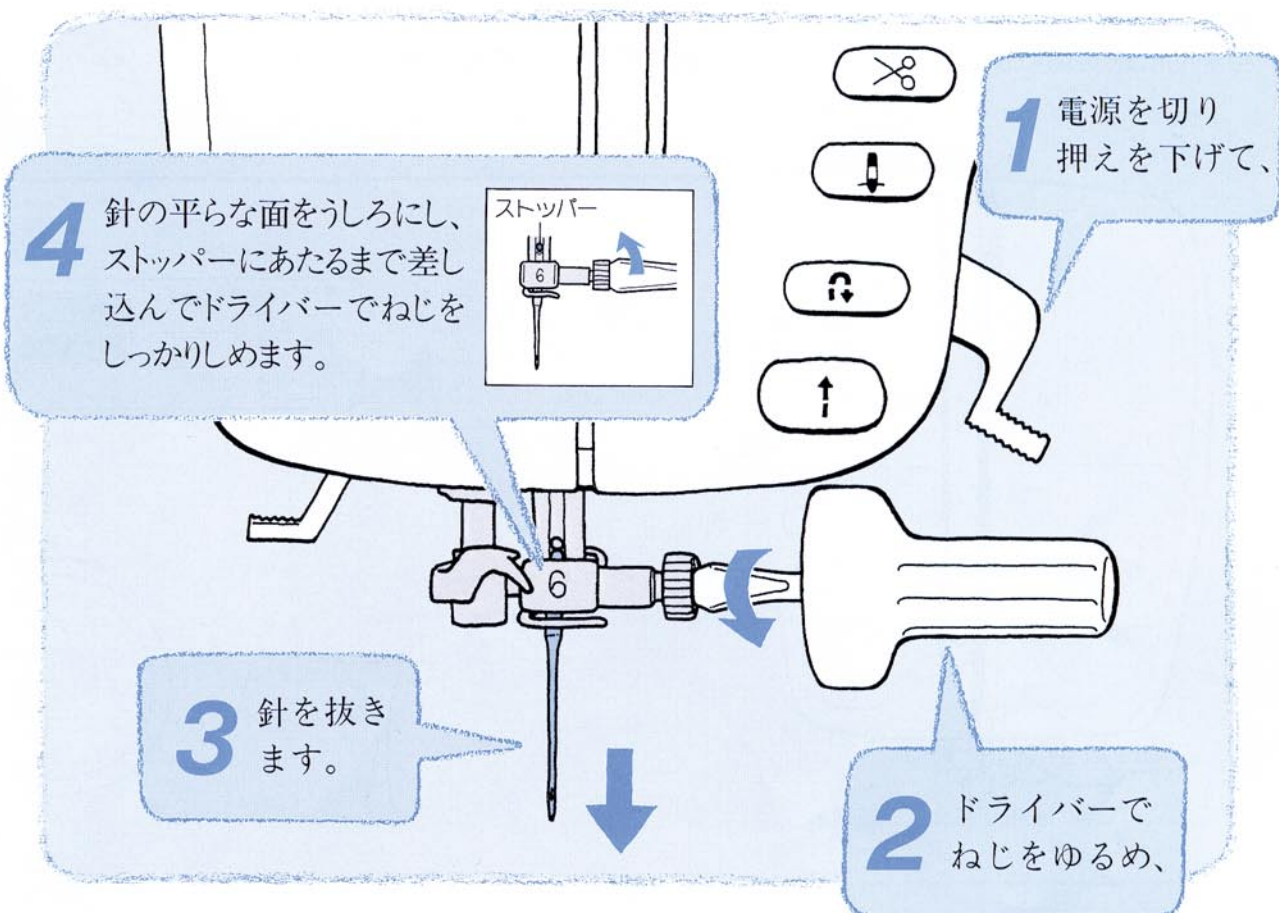
片押え<Ⅰ>



押えホルダーのねじをゆるめ、押えを取り替え、押えを下げた状態でねじをしめます。

針交換

針はしっかりとねじをしめ、確実にとりつけましょう。

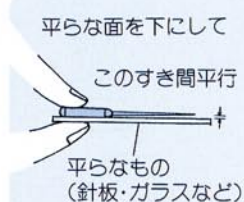


■布地と糸と針の選択早見表

布地の種類		普通地			薄地		厚地		のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合		
		ブロード	タフタ	フランドロ	ローン	ジョーゼット	ポーラ	テニム	コーデュロイ	ツイード	ジャージ	トリコット				
糸	種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	ニット用糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
	太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50		50~80	50~80	50~80	30	30
針の太さ		11~14			9~11		14~16		ゴールデン針 11~14		9~14			14~16		

※ゴールデン針は、模様ぬい及び伸縮性のある布地や目とびしやすい布地に効果があります。

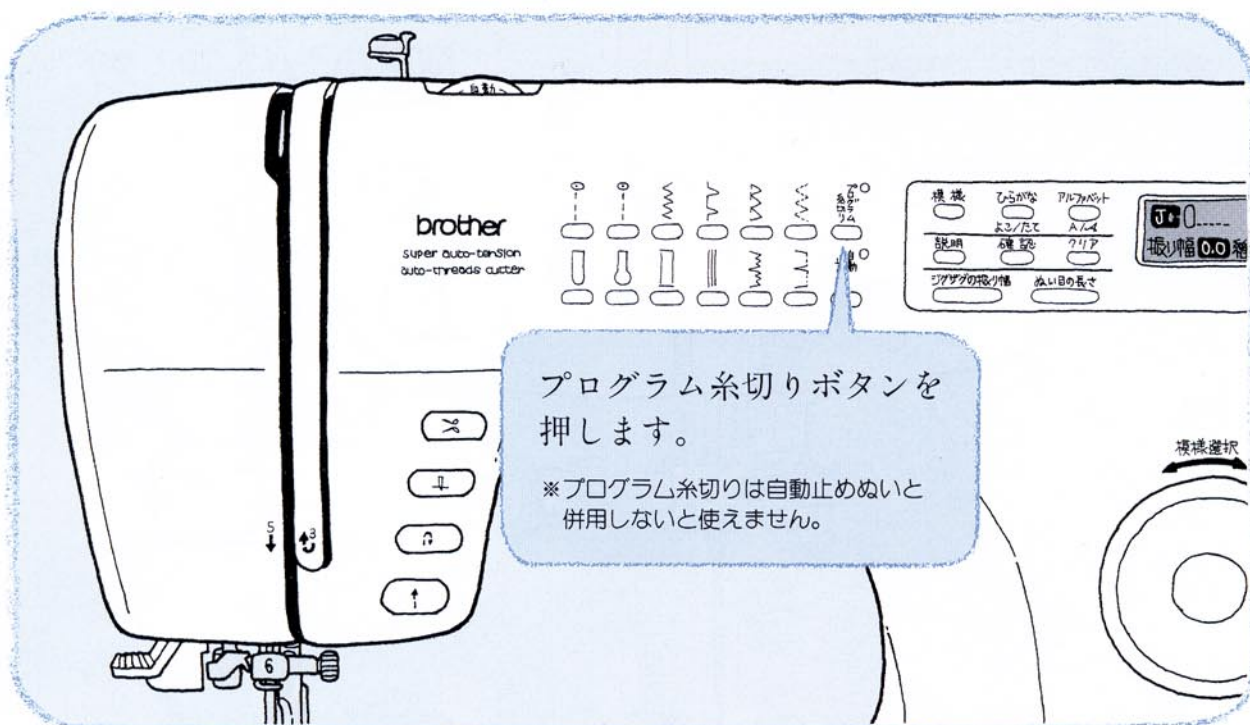
■正しい針の調べ方



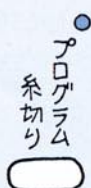
プログラム糸切り

自動的に糸を切ります。 めんどうな糸始末が要りません。

あらかじめプログラム糸切りを設定しておく、模様のぬい終わりで自動的に糸を切ります。(ぬい始めとぬい終わりは、止めぬいをします。)



■プログラム糸切りを解除するには





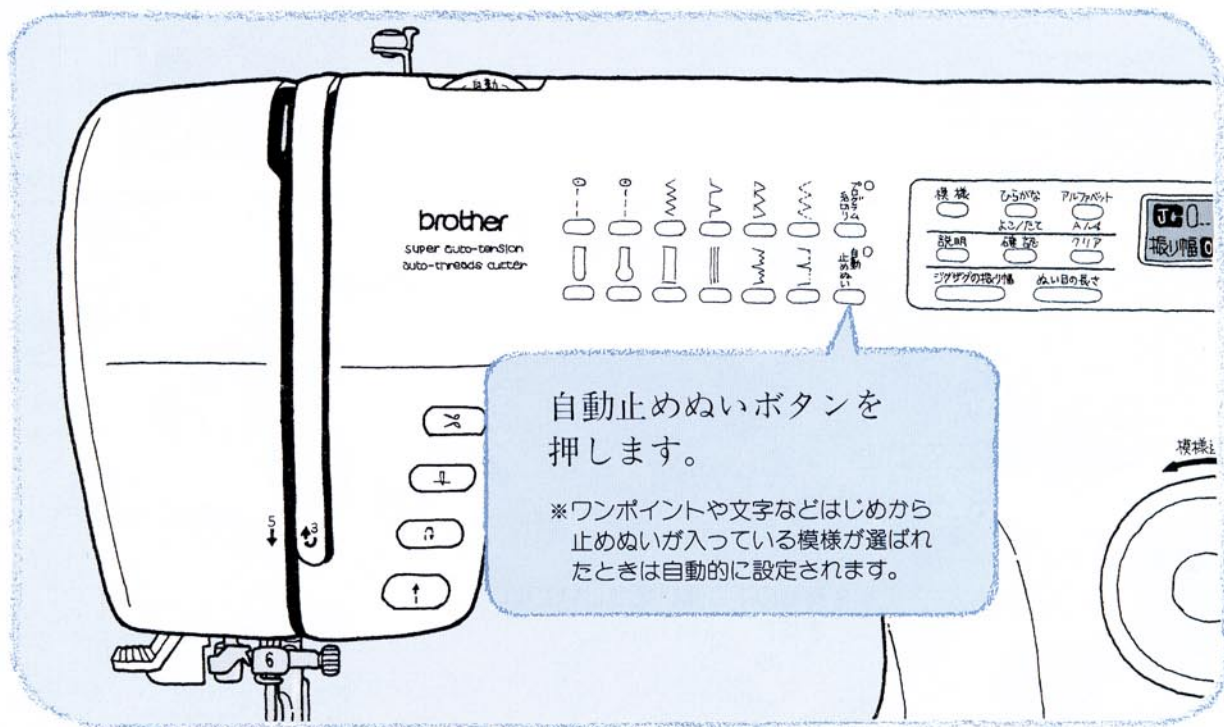
もう一度プログラム糸切りボタンを押すと、ランプが消え、解除されます。

※ボタン穴かがり、かんとめ、アイレット、ワンポイントなどをぬうときにプログラム糸切りを使うと便利です。

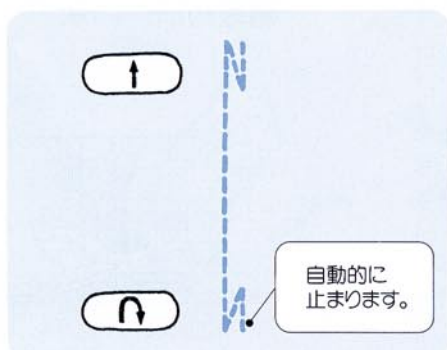
自動止めぬい

自動的にほつれ止めをします。

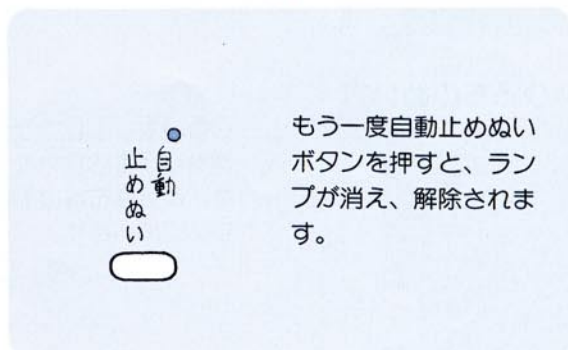
あらかじめ自動止めぬいを設定しておくとし、 スイッチでほつれ止めをしてぬい始め、 スイッチでほつれ止めをして自動的に止まります。



■（例）直線するとき




■自動止めぬいを解除するには



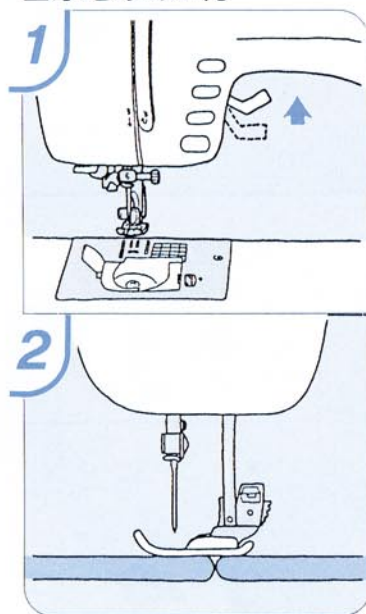
※直線（左基線、中基線）以外の模様は止めぬいをします。

ぬっている途中で一旦止め、再びスタートしてもほつれ止めはしません。

直線ぬいをしている途中で一度止め、次に  スイッチを押した場合は、返しぬいをして自動的に止まります。

覚えておくと便利

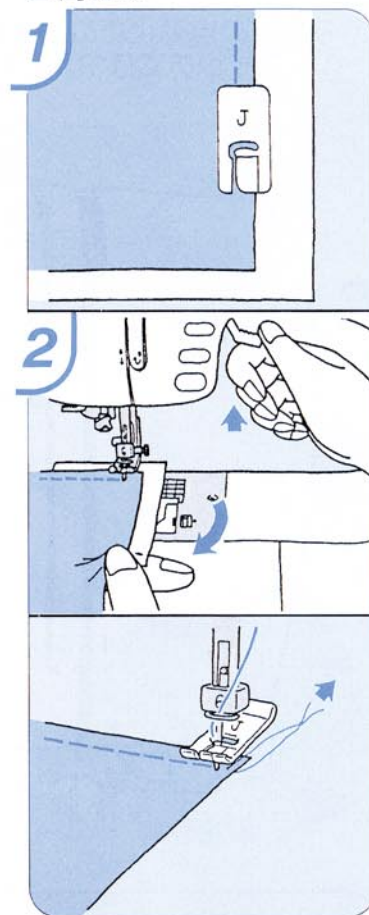
■厚地のぬい方



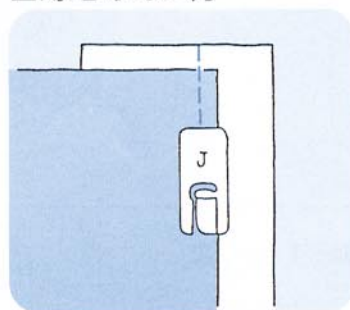
押えレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。

ぬい始めに布地が送らないときは押えの後ろに同じ厚さの布地をおいてぬいます。

■角ぬい

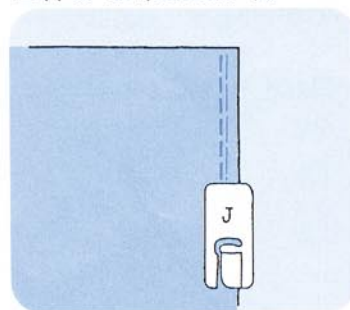


■薄地のぬい方



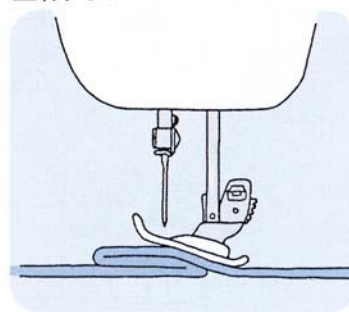
布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■伸びる布のぬい方



しつけをし、しつけのきわを布地を引っ張らないようにぬいます。または布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■段ぬい



※直線の場合は左基線でぬいます。

●薄い布地をぬう場合

薄い紙を下に置いてぬいます。

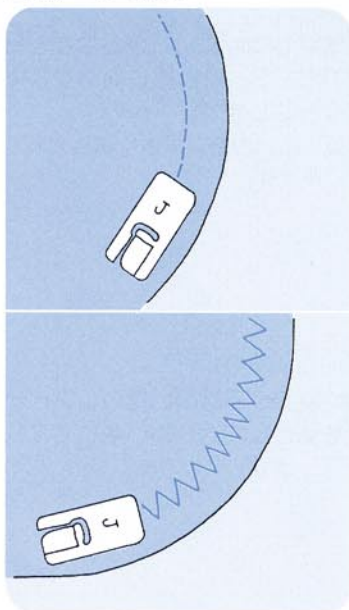
角まで来たら針を下けたまま押えを少し上げ、紙を持って回します。

●0.5 cm以下のステッチでぬう場合

角部にしつけ糸をつけ、方向をかえたら糸を後ろへ引っ張りながらぬいます。

手で布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

■カーブぬい



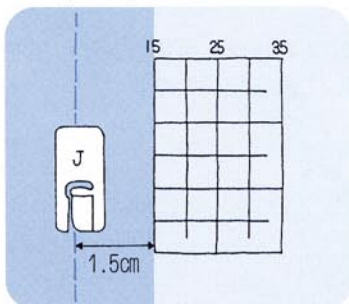
●直線の場合

ぬい目が布端と平行になるようにゆっくりとぬいます。

●ジグザグの場合

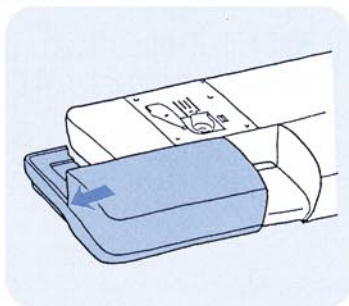
ぬい目を細かくしてぬうと、ぬい目がそろってみえます。

■針板の使い方



布端を針板の線に合わせてぬうとぬい幅がそろいます。

■フリーアーム



ズボンのすそ、カフスつけなど筒の部分をぬうときに便利です。



地ぬい

振幅 0.0 縫長さ 2.5

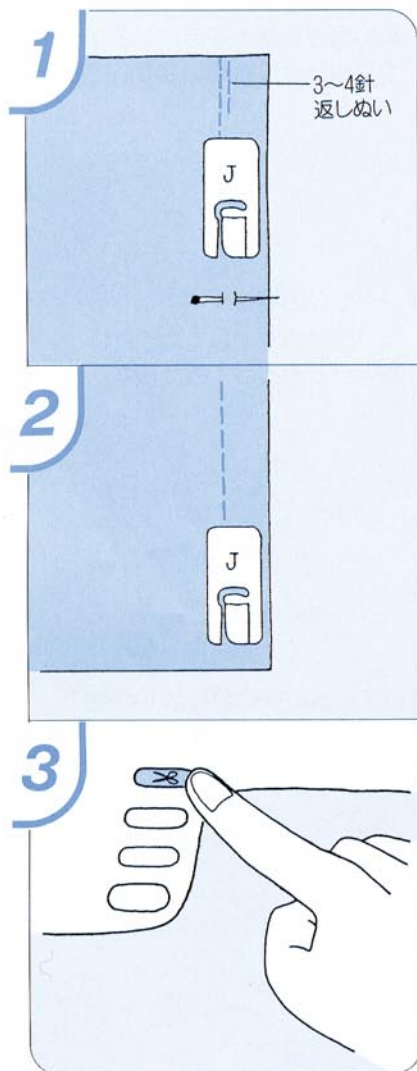
縫長さ 2.5

振幅 0.0



1. 〇、〇 または 〇 ボタンを押します。

2. 〈J〉 押えを取り付けます。



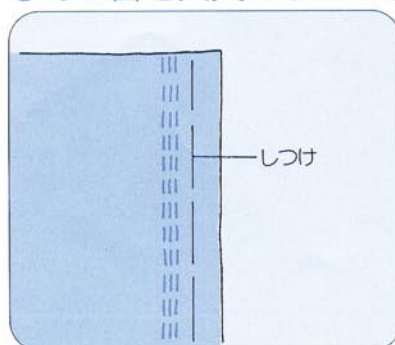
布地にしつけぬい、またはまち針を打ち、3~4針返しぬいをしてスタートします。

※返しぬいの分、布地は奥へ入れておきます。

ぬい終わりに近づいたら、スピードを落とし、返しぬいをしてストップします。

ぬい終わりは、糸切りスイッチを押して糸を切ります。

●ぬい目を丈夫にしたい場合・伸びる布地の場合



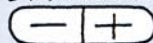
しつけをし、しつけのきわをぬいます。

※ぬい目の長さは変えられません。

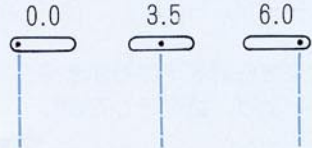
※布地を引っ張らないようにぬってください。

■針位置を変えるには

ジグザグの振り幅



針位置 0.0 針位置 3.5 針位置 6.0

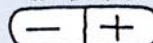


ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチの **-** または **+** を押して調節します。

※直線（中基線）のとき針位置は変えられません。

■ぬい目の長さを変えるには

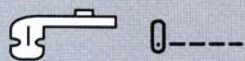
ぬい目の長さ



自動 2.5mm

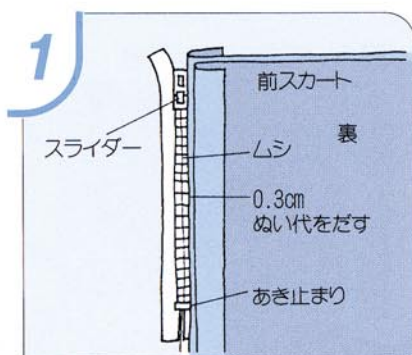


ぬい目の長さ マニュアルスイッチの **-** または **+** を押して調節します。

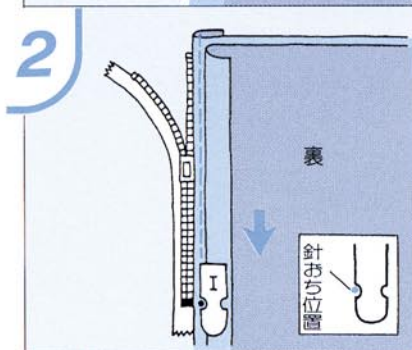


1. ボタンを押します。
2. <I> 押えを取り付けます。

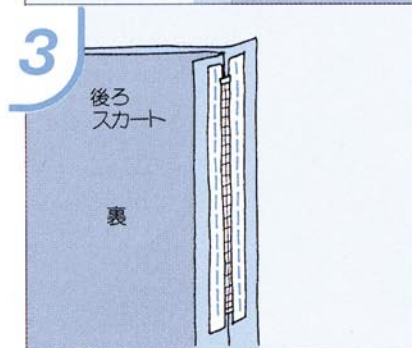
ファスナーつけ



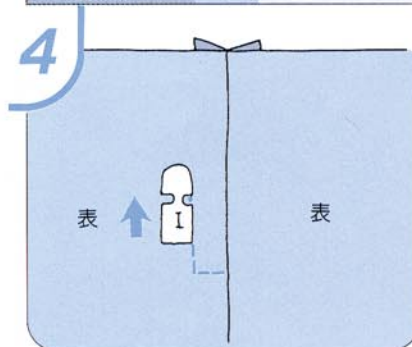
ぬい代をわり、後ろスカートのぬい代を0.3cm出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



<I> 押えを取り付け、押えの後ろの調節ねじで針おち位置を調節し、あき止まりまでぬいます。

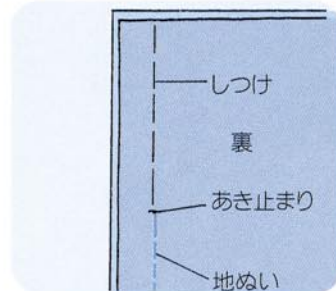


ファスナーを閉じて裏返し、もう片方のぬい代にぬいつけます。



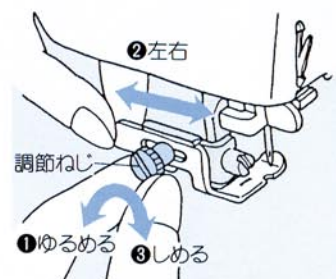
表に返し、ステッチをかけます。
※5cmほど手前までぬったらミシンを止めてスライダーをずらし、残りをぬいます。

■準備



<J> 押えを取り付け、あき止まりまでは地ぬいをし、あきの部分にはしつけをしておきます。

■針おち位置を変えるには



※ブーリーを回して針が押さえに当たらないことを確認します。

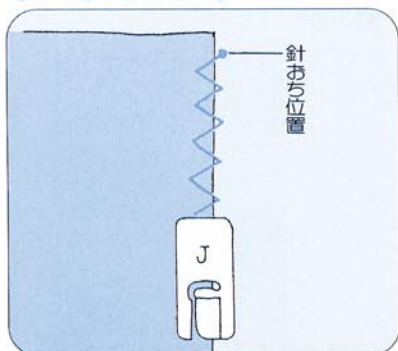


1. ボタンを押します。
2. 〈J〉 押えを取り付けます。

ジグザグ

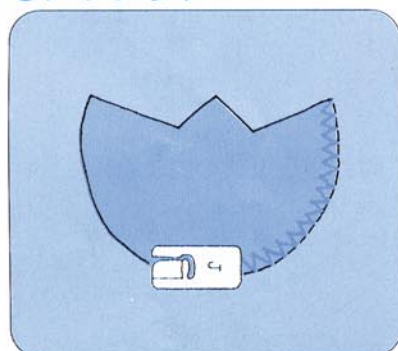
たちめかがり、アップリケ、パッチワークなどに用います。

●たちめかがり



針を布端より外側におとしてぬいます。

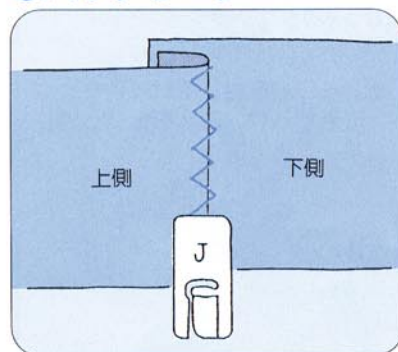
●アップリケ



アップリケ布をのりづけ、またはしつけをしてぬいます。

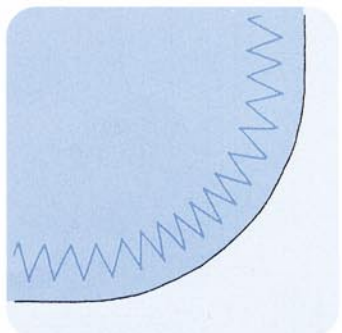
※針をアップリケ布の端より少し外側へおとしてぬいます。

●パッチワーク



上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布に模様がまたがるようにしてぬいます。

■カーブぬいの場合



ぬい目を細かくぬうと、ぬい目がそろってみえます。




たちめかがり

G M M
振り幅**3.5** 縫長さ**2.0**

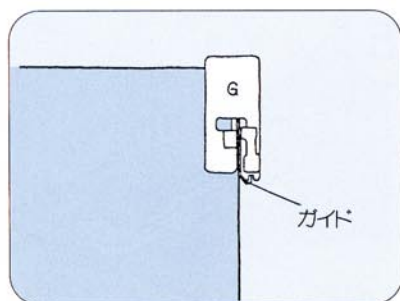
G M M
振り幅**5.0**

J WWWW
振り幅**5.0** 縫長さ**1.0**



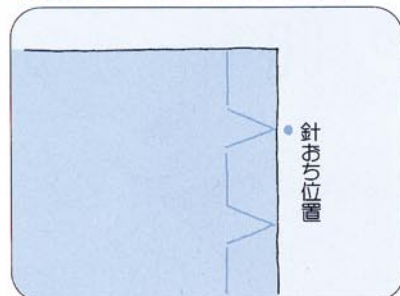
1. 、 または  ボタンを押します。

2. 〈G〉または〈J〉押えを取り付けます。

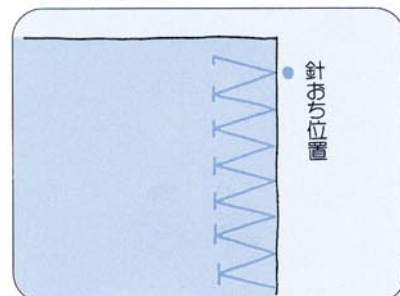


布端を押えのガイドにあてながらぬいます。

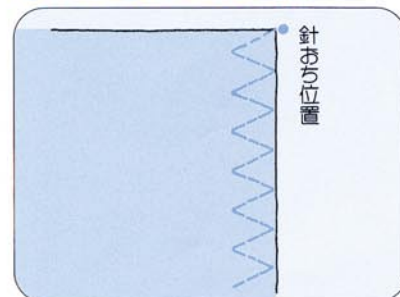
●薄地・普通地の場合



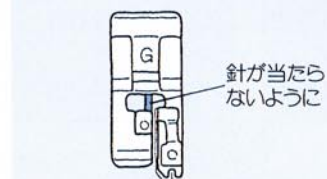
●厚地・ほつれやすい布地の場合



●伸びる布地の場合



〈J〉押えを取り付け、針を布端より少し外側に落としてぬいます。



※振りを調節した場合は、針が押えの中央ガイドに当たらないことを確認してください。



ボタン穴かがり

ボタン穴の他、ひもやりボタンを通す穴にも使います。

AC 振り幅**5.0** 縫長さ**0.4**

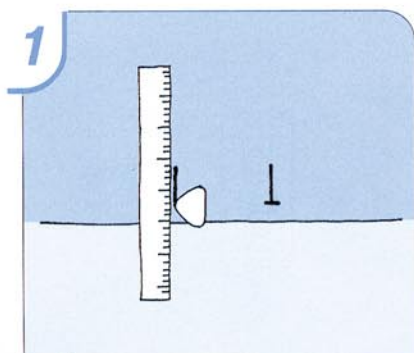
AC 振り幅**7.0** 縫長さ**0.5**

AC 振り幅**5.0** 縫長さ**0.4**



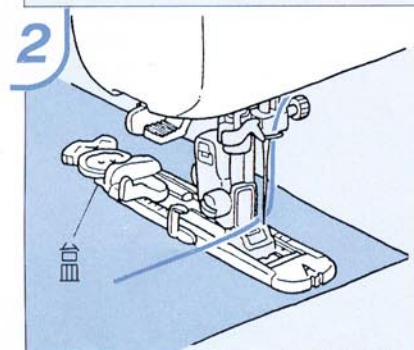
1. 、 または ボタンを押します。

2. 〈A〉 押えを取り付けます。

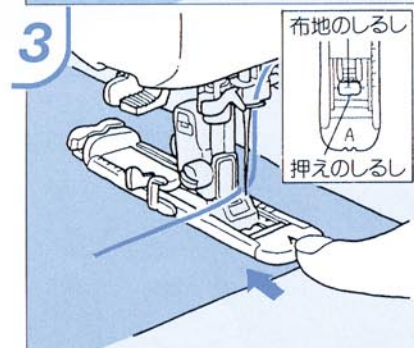


ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけます。

※〔ボタンの直径+厚み〕が3cmまでのボタン穴かがりができます。

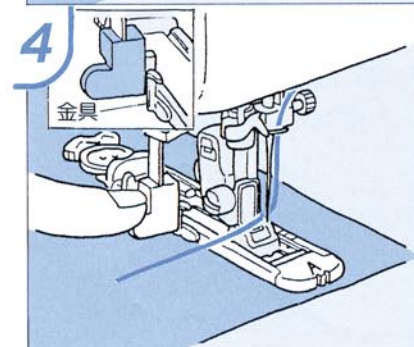


台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。



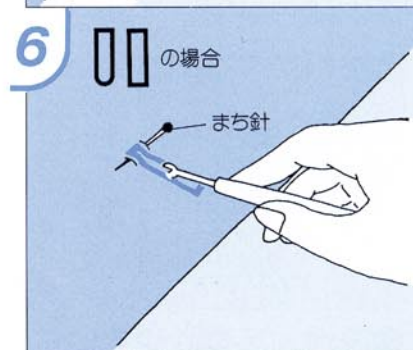
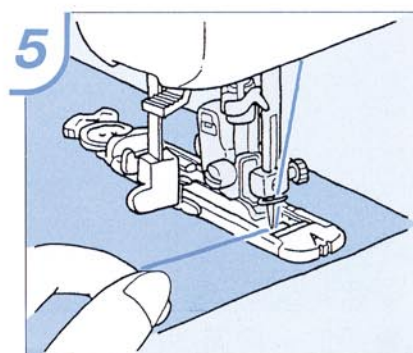
布地のしるし
押えのしるし

押えの赤いしるしに布地のしるしを合わせて、押えを下げます。



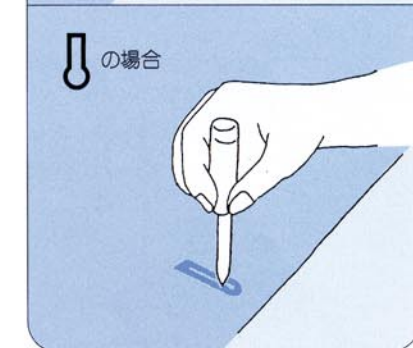
金具

ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。



〇〇 の場合

まち針



〇 の場合

上糸を持ってスタートします。

※手は布地にかかるくそえてください。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定(P.23)をしておくとない終わりは自動的に糸を切ります。

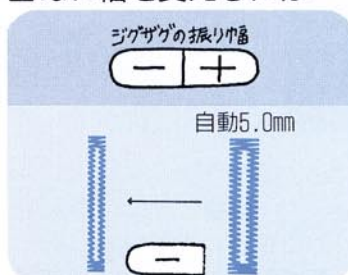
リッパーで開きます。

●ネムリ穴と両かんだめ穴の場合

●ハトメ穴の場合

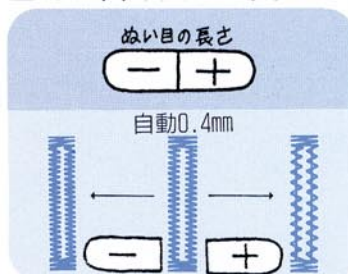
ハトメ穴パンチでハトメに穴をあけてからリッパーで開きます。

■ぬい幅を変えるには



(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの **-** または **+** を押して調節します。

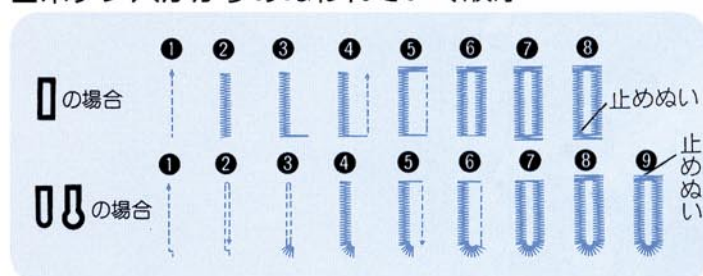
■ぬい目の長さを変えるには



(ぬい目の長さ) マニュアルスイッチの **-** または **+** を押して調節します。

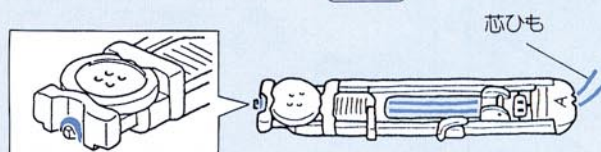
※ぬい目がつまる場合には **+** を押してぬい目をあらくします。

■ボタン穴かがりのぬわれていく順序



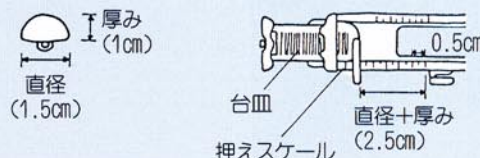
■のびる布地の場合

のびる布地にボタン穴かがりををするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。(ただし **□** のみ)



■ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りにボタンの直径+厚みの寸法をセットします。
(例)直径1.5cm、厚み1cmの場合、スケールを2.5cmにセットします。



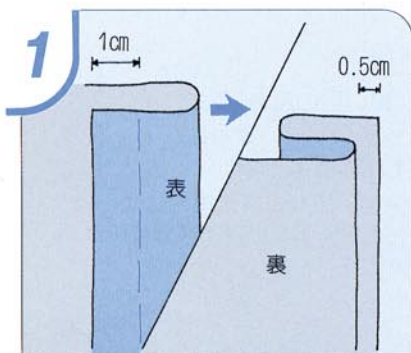


まつりぬい

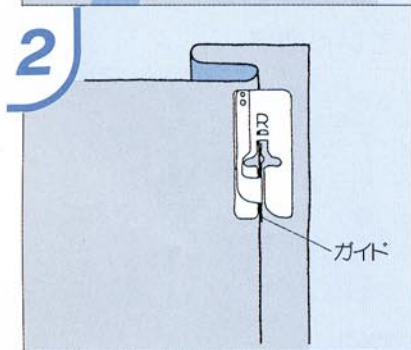
スカートなどのすそ上げに用います。



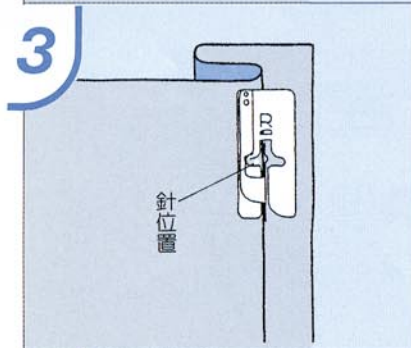
1. または ボタンを押します。
2. 〈R〉押えを取り付けます。



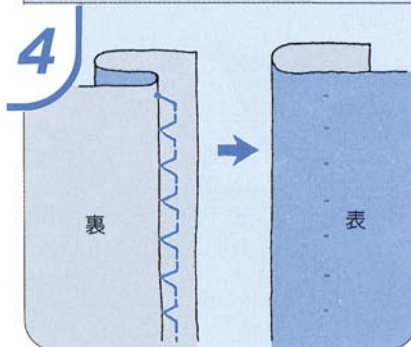
布地を折り、しつけをします。



ガイドに折り山を合わせて押えを下げます。

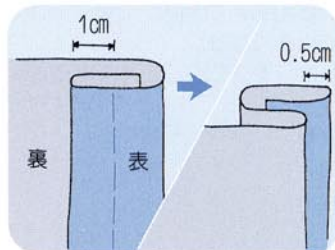


針が折り山にかかる量を
(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチで調節して折り山をガイドにあてながらぬいます。
※伸びる布地の場合は でぬいます。

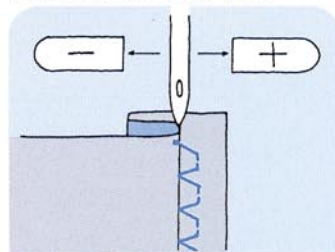


表に返し、しつけをとります。

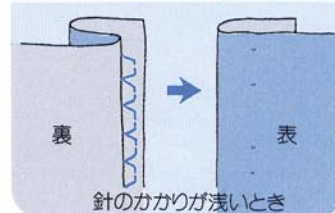
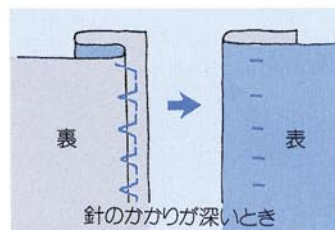
■薄地の場合の折り方



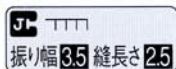
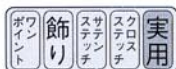
■針位置の合わせ方



(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの または を押して、布の折り山にわずかにかかるように調節します。



アップリケ



1. **模様** キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、**実用** 表示を
実用 に合わせてセットキーを押します。
2. **実用** 表示が **TTT** にあることを確認
しセットキーを押します。
3. 〈J〉 押えを取り付けます。

アップリケ布を止めます。

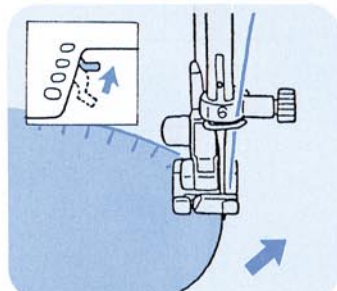
※アップリケ布がズレない程度にのりづけをするか、しつけをします。

針おち位置と針が右にあることを確認して、ぬいます。

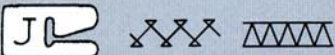
※ぬい始めとぬい終わりの糸は止めぬいをするか、上糸と下糸をしつかり結んでください。

ぬい上がり

■急な角度をぬう場合

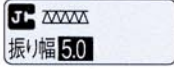
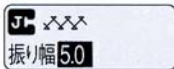
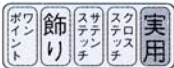


- 1 ミシンを止め、アップリケ布の右側に針を落とします。
- 2 押えを上げ、針を軸にして布地を回します。



飾りぬい(ファゴティング) つき合わせ

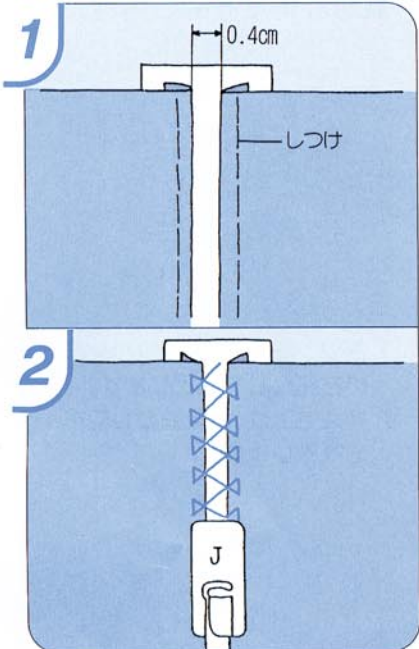
飾りや布地のつき合わせに使います。



1. 模様 キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、 表示を
実用 に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、 または
 を選んでセットキーを押します。
3. <J> 押えを取り付けます。

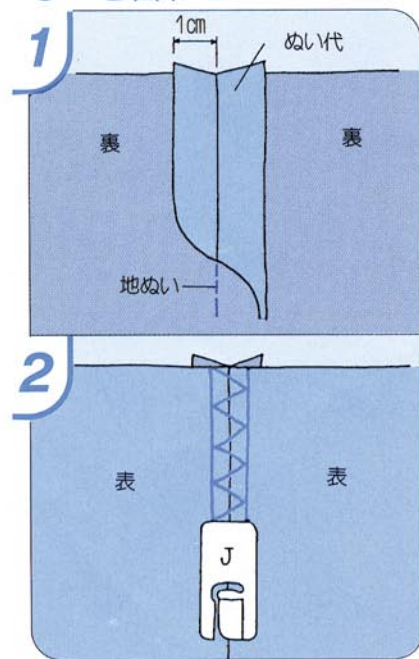
●飾りぬい(ファゴティング)

布地を薄い紙にします。



(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチで振り幅を最大にし、押えの中心を布と布の間の中心に合わせてぬいます。
※糸は太番手のものを使ってください。
※ぬい終わったら紙をはがします。

●つき合わせ



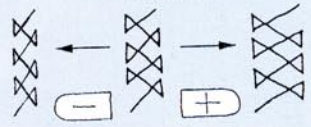
2枚の布を中表に合わせて地ぬいしたあと、ぬい代をわります。
押えの中心を、布と布の中心に合わせてぬいます。

■ぬい幅を変えるには

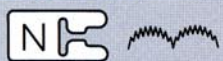
ジグザグの振り幅



自動5.0mm

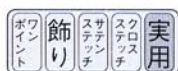


(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの (-) または (+) を押して調整します。

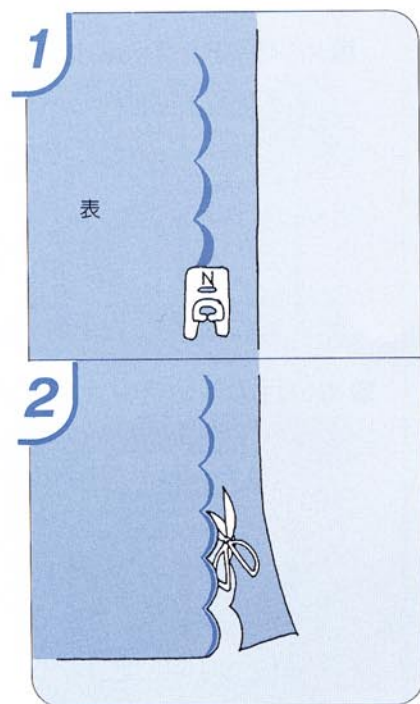


スカラップ

ブラウスのえりなどのふち飾りに用います。



1. 模様キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、表示を
実用に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、を選んで
セットキーを押します。
3. 〈N〉押えを取り付けます。

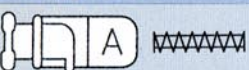


模様が布端にかからないように端を残してぬいます。

糸をきらないようにぬい目にそって布地を切ります。

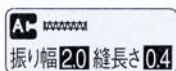
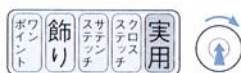


ブラウスのえりや、ハンカチなどのふち飾りに用います。

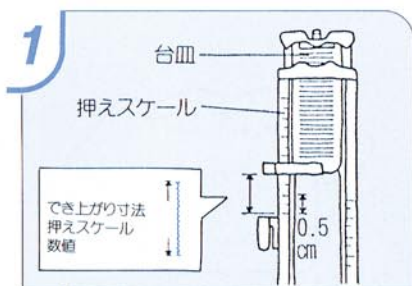


か ん ど め

ポケット口の補強などに使います。

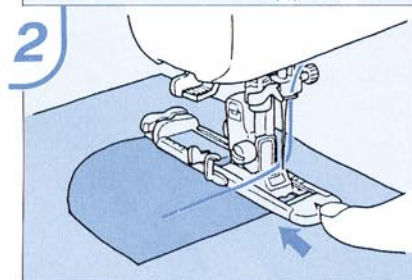


1. 模様キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、 表示を
実用 に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、 を選
んでセットキーを押します。
3. <A> 押えを取り付けます。

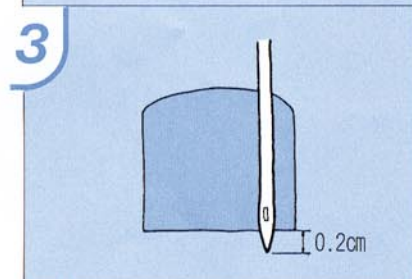


押えの目盛りでぬい長さをセットし
ます。

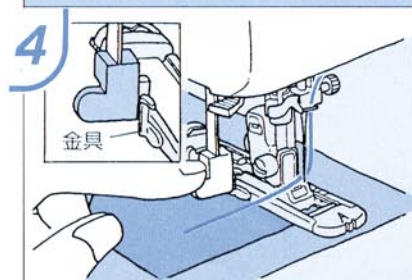
※0.5～3cmまでのかんどめがで
きます。通常0.5～1cmの長さを使いま
す。



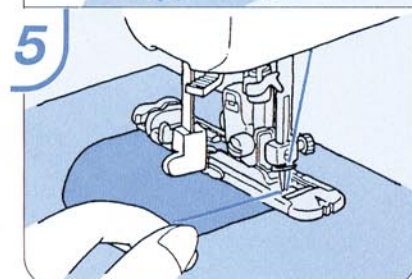
ポケット口が手前にくるように布地
を置きます。



最初の針おち位置を確認して押えを
下げます。



ボタン穴かがり用切換レバー（青い
レバー）を金具の後ろに下げます。



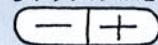
上糸を持ってぬいます。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをし
て止まります。

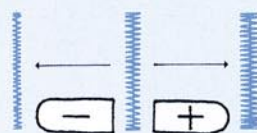
※あらかじめプログラム糸切りの設定
（P.23）をしておくともぬい終わりは
自動的に糸を切ります。

■ぬい幅を変えるには

ジグザグの振り幅

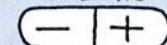


自動2.0mm

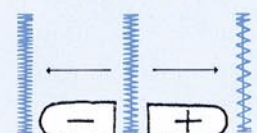


■ぬい目の長さをを変えるには

ぬい目の長さ

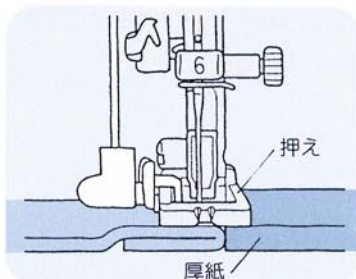


自動0.4mm



（ジグザグの振り幅）マニュアルスイッチの **－** または **＋** を押します。

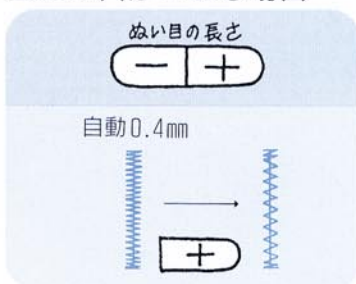
■厚地の場合



押えが水平になるように厚地、または厚紙を使います。

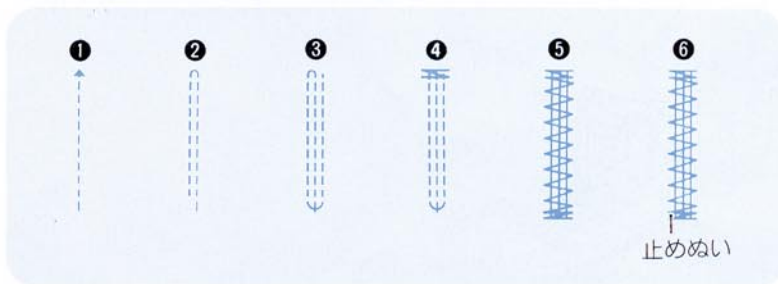
（ぬい目の長さ）マニュアルスイッチの **－** または **＋** を押します。

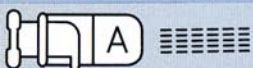
■ぬい目がつまる場合



（ぬい目の長さ）マニュアルスイッチの **＋** を押してぬい目をあらくします。

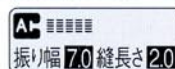
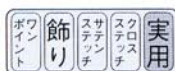
■かんだめのぬわれていく順序





ダーニング

つくろいぬいなどに使います。



1. 模様 キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、 表示を 実用 に合わせてセットキーを押します。
2. 表示が にあることを確認し、セットキーを押します。
3. 〈A〉 押えを取り付けます。

押えの目盛りでぬう長さをセットします。

※最大長さ 3 cmのダーニングができます。

ぬう場所に押えを合わせ、押えを下げます。

ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。

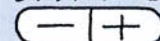
上糸を持ってぬいます。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

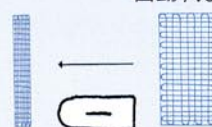
※あらかじめプログラム糸切りの設定（P.23）をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切ります。

■ぬい幅をせまくするには

ジグザグの振り幅

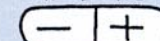


自動 7.0 mm

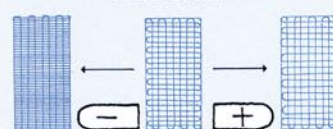


■ぬい目の長さを変えるには

ぬい目の長さ

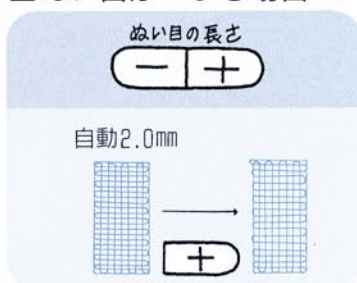


自動 2.0mm



ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチの **－** を押します。

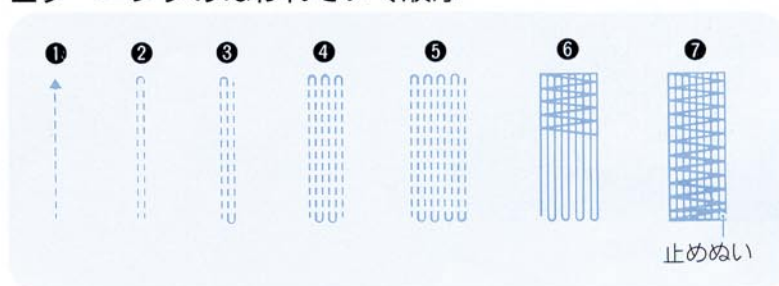
■ぬい目がつまる場合

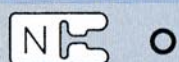


ぬい目の長さ マニュアルスイッチの **+** を押してぬい目をあらくします。

ぬい目の長さ マニュアルスイッチの **－** または **+** を押します。

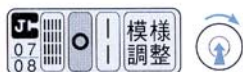
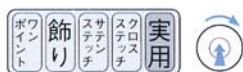
■ダーニングのぬわれていく順序



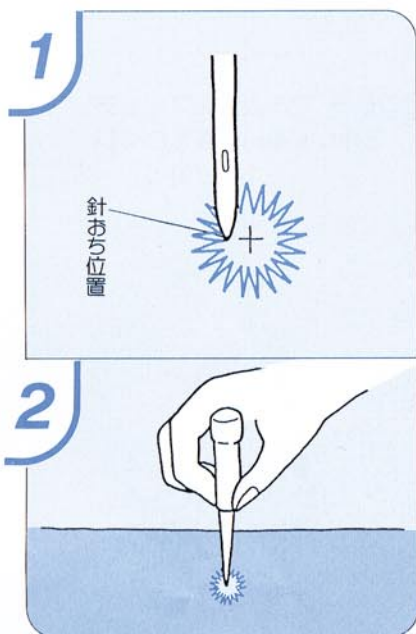


アイレット

ベルトの穴かがり等に使います。



1. 模様 キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、 表示を
実用 に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、 を選
んでセットキーを押します。
3. 〈N〉 押えを取り付けます。



針おち位置を確認してぬいます。
※ぬい終わると自動的に止めぬいを
して止まります。
※あらかじめプログラム糸切りの設
定(P.23)をしておくともぬい終わり
は、自動的に糸を切ります。

ハトメ穴パンチで穴をあけます。

■ 大きさを変えるには

実物大

自動



7.0

6.0

5.0

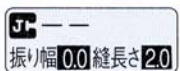
ジグザグの振り幅



ぬい目の長さ

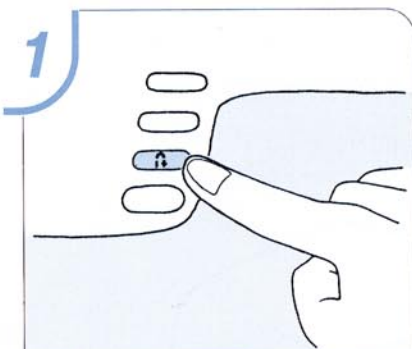
ジグザグの振り幅 マニユ
アルスイッチまたは ぬい目の長さ
マニユアルスイッチの -
または + を押します。



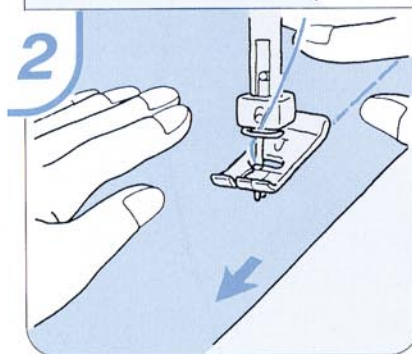
し っ け



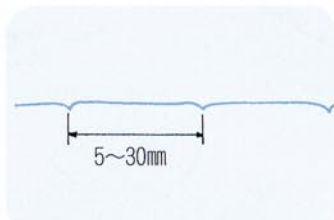
1. 模様 キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、 表示を
実用 に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、 を選
んでセットキーを押します。
3. 〈J〉 押えを取り付けます。



ぬい始めは返しぬいスイッチを押
して止めぬいをします。
(自動止めぬいが設定されてい
るときは、そのままスタートしま
す。)



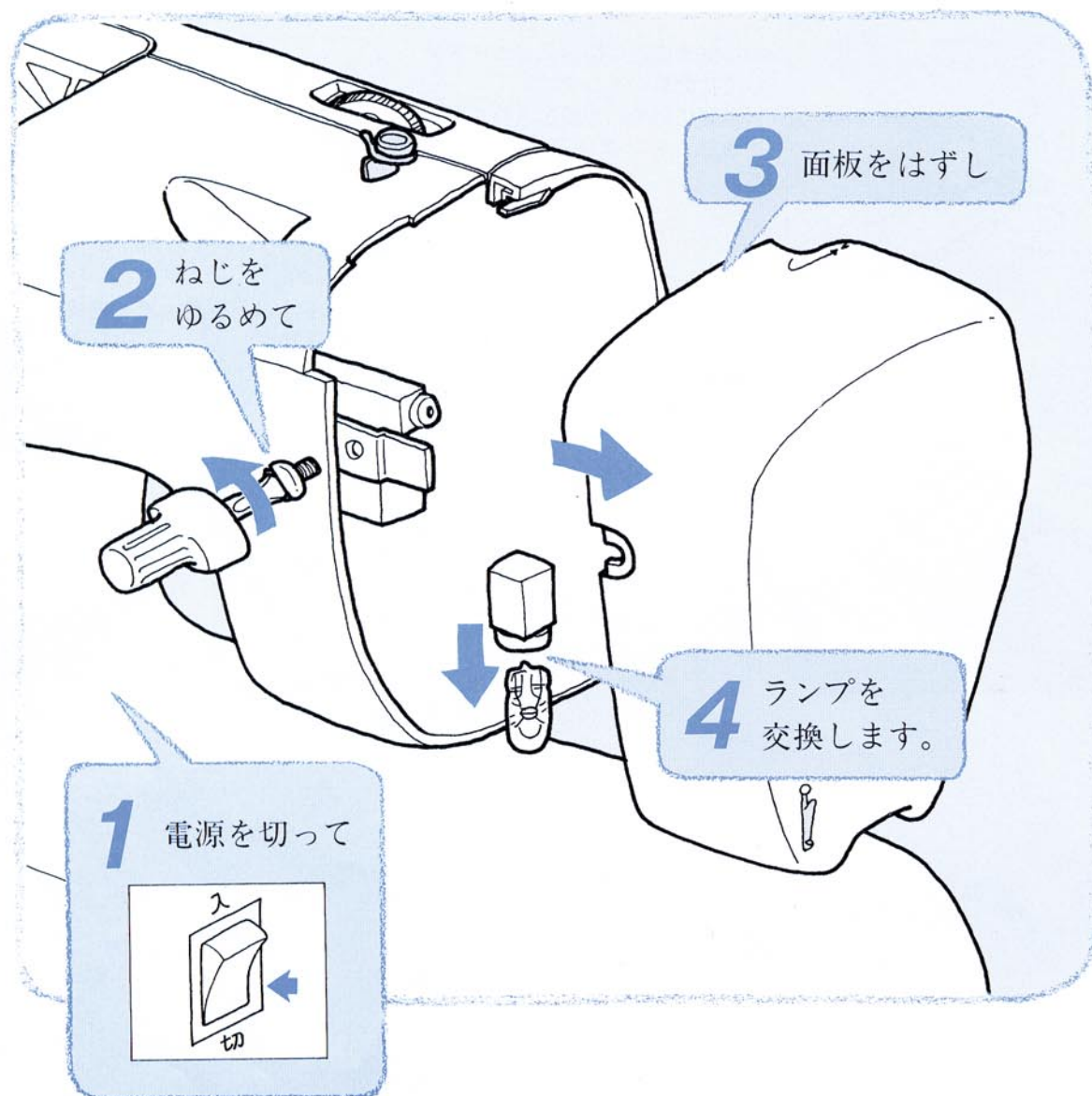
布地を張りながらぬいます。
※ぬい終わりは止めぬいをします。



縫長さは5~30mmまで変えら
れます。

ランプの交換

ランプが切れたら



※ランプ(8V、2.4W／部品コードX50228-001)は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。

お手入れ

いつも清潔にしておきましょう。

1 電源スイッチを切ってから、
押えホルダーと針をはずし、

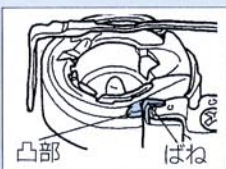
2 ねじを
ゆるめます。

3 針板を
はずします。

5 付属のブラシや掃除機で
外かまとその周辺の
糸くずをとります。

4 内かまを
取り出し、

6 内かまの凸部とばねを
合わせて取り付けます。



※ほこりなどがたまると縫製不良の
原因となります。

ぬい方早見表

模様の種類	基本実用												
	直線			ジグザグ	だち目 かがり		点線 ジグザグ	ボタン 穴かがり			三重ぬい	ぬい まっし	
選択記号													
押え記号													
主な用途	ファスナー付け・おとし ミシン・ピンタックその他		地ぬい ギャザー ピンタックその他	裁ち目かがり・アップリ ケ・バリチーフその他	普通地・薄地の ほつれ止め	厚地・ほつれやすい布地 のほつれ止め	伸びる布地のほつれ止め ゴムも付け	ブラウス・シャツなどの ボタン穴かがり	スウィート・オーバーなどの ボタン穴かがり	バジャマ・シャツなどの ボタン穴かがり	地ぬい(ぬい目を丈夫に したいときなど)	伸びる布地の すそ上げ	スカートなどの すそ上げ
返しぬい スイッチ	返	返	返	(返)	止	止	止				止	止	止
ジグザグ振り幅 マニュアルスイッチ	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ぬい目の長さ マニュアルスイッチ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○
プログラム 糸 切 り													

模様の種類	模 様												ひらがな	アルファベット
	ポイント	飾り	サテン	クロス	リケ	ぬい	飾り	合わせ	つまみ	かん	スカ	ニダー	リット	しけ
模様の種類	ポイント	飾り	サテン	クロス	リケ	ぬい	飾り	合わせ	つまみ	かん	スカ	ニダー	リット	しけ
押え記号														
主な用途	模様の ポイント	模様の 飾り	模様の サテン	模様の クロス	アップリケ フック	飾りぬい フック	飾りぬい フック	合わせ フック	つまみ フック	かん フック	スカ フック	ニダー フック	リット フック	しけ フック
返しぬい スイッチ		止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止
ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチ	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ぬい目の長さ マニュアルスイッチ	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
プログラム 糸切り														

返……返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。自動止めぬい設定時は後進3針、前進3針の往復ぬいをします。
 (返)……返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。
 止……返しぬいスイッチを押している間、止めぬいを3針行って止まります。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。
 ○……調節することができます。
 ×……自動のため調節することができません。
 ※……あらかじめプログラム糸きりの設定をしておくとなぬい終わりは自動的に糸を切ります。
 ※○……あらかじめプログラム糸切りと自動止めぬいの設定をしておくとなぬい終わりは自動的に止めぬいをして糸を切ります。

エラー／メッセージ表示・電子音

ミシンが正しくセットされていない状態で、スタート／ストップスイッチ、返しぬいスイッチが押されたときやまちがった操作をしたときは、ミシンが運転されず、電子音とエラー表示をしてお知らせします。

●エラー表示

押えレバーを
下げて下さい

押えが上がった状態でスタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

青いレバーを
上げて下さい

ボタン穴かがり用切換えレバーが下がった状態でボタン穴かがり押えを使用する模様以外の模様を選択し、スタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

青いレバーを
下げて下さい

ボタン穴かがり用切換えレバーが上がった状態でボタン穴かがり押えを使用する模様を選択し、スタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。(この場合ミシンが一回転だけ動きます。)

模様を選んで
下さい

模様が選択されていない状態でスタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・マニュアルスイッチ・自動止めぬいスイッチ・プログラム糸切りスイッチを押したときに表示します。

組み合わせが
一杯です

組み合わせ可能な数を越えたときに表示します。

安全装置がは
たらきました

糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示します。

コントローラ
ー使用中

別売りのフットコントローラーがついている状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示します。

変わりません

マニュアル調整のできない模様でマニュアルスイッチを押したときに表示します。

下糸巻軸を左
にして下さい

下糸巻きの軸を右にした状態で、返しぬいスイッチ・針上下スイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

●メッセージ表示

下糸巻中

下糸巻きの動作中に表示します。

●電子音

正しい操作をしたとき → 1回 “ピッ”

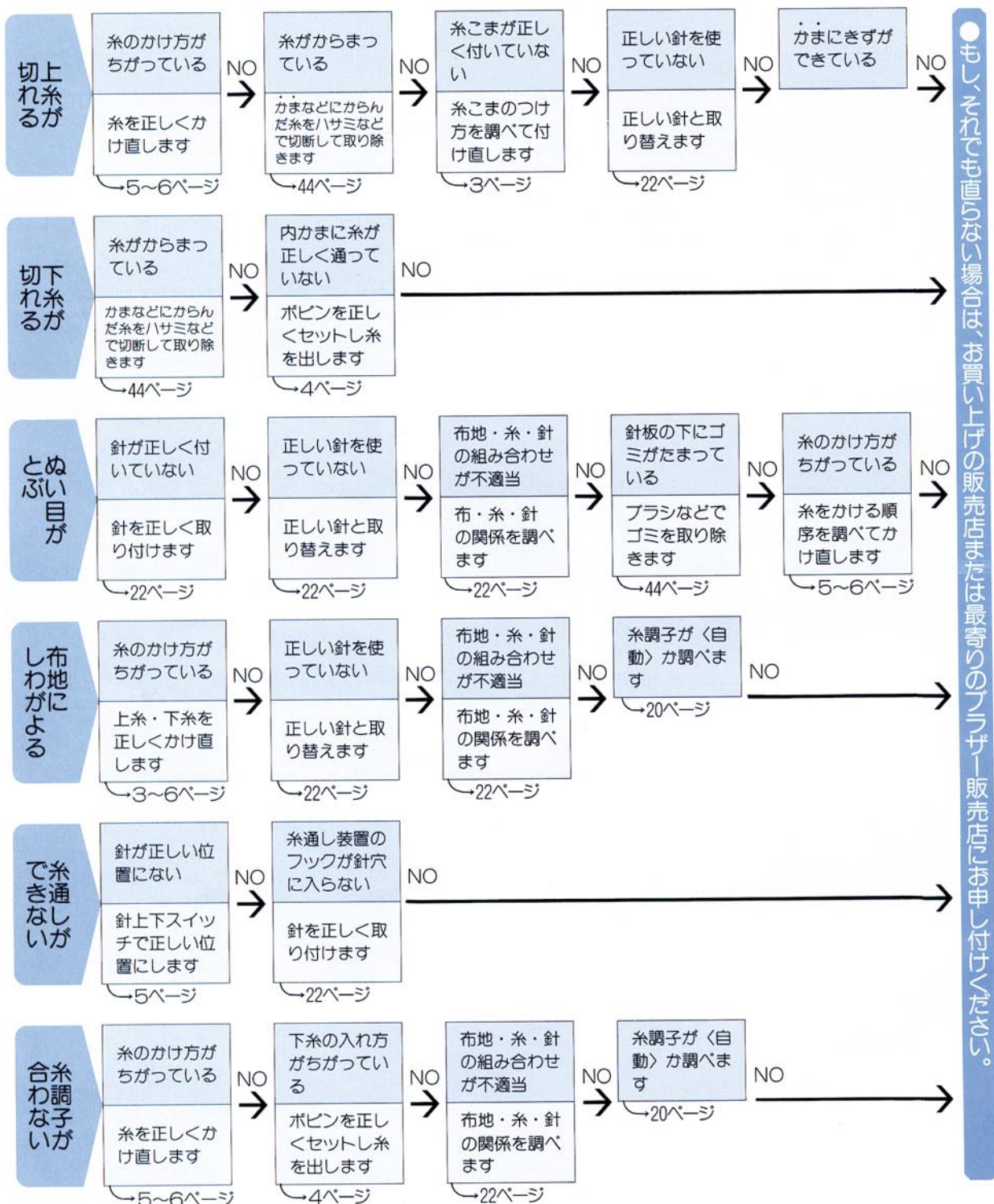
まちがった操作をしたとき → 2回 “ピッピッ” または 4回 “ピッピッピッピッ”

トラブルチェック

(簡単なミシンの調整)

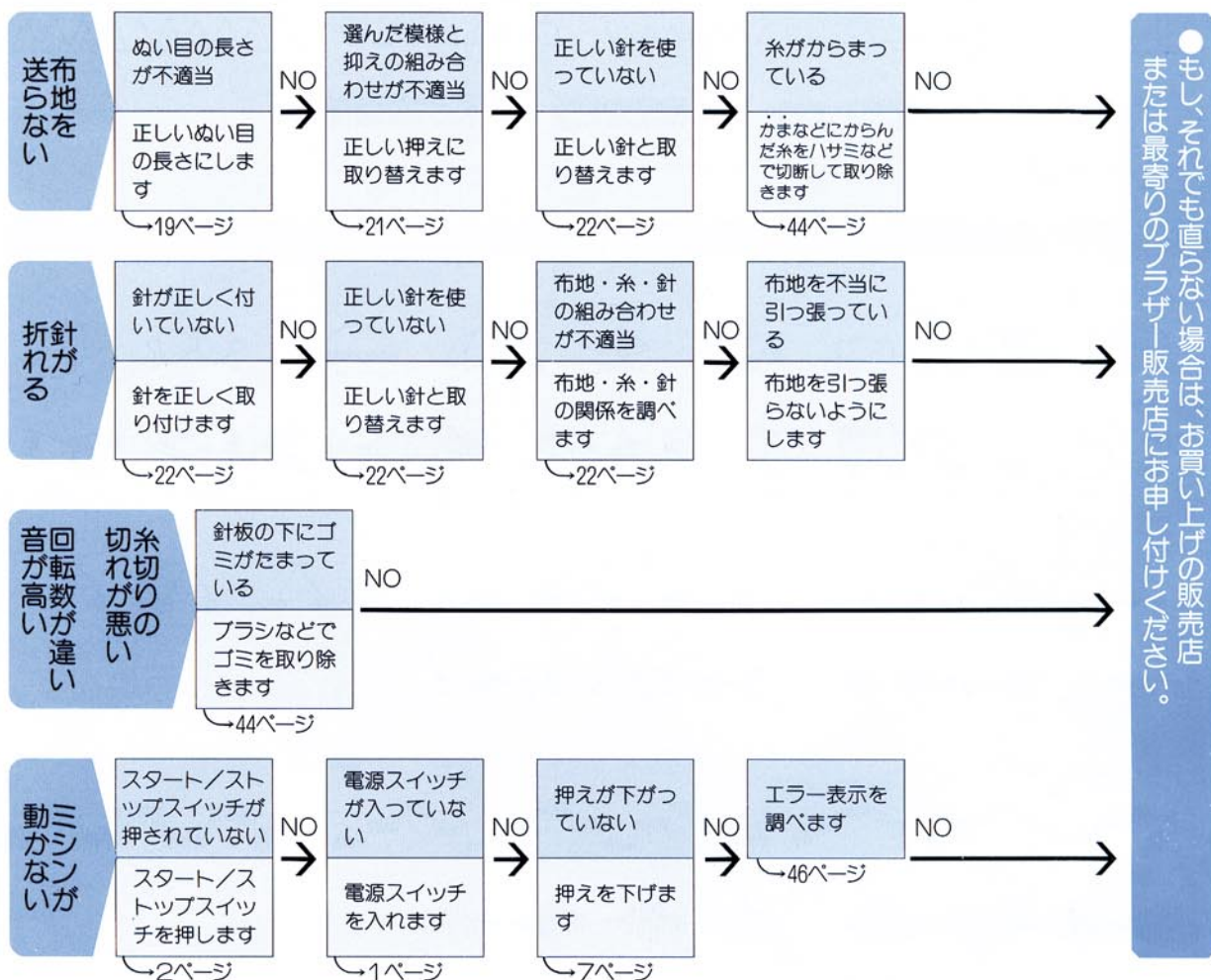
落ちついて原因

■糸とぬい目のトラブル



を確かめましょう。

■機械トラブル



ご注意

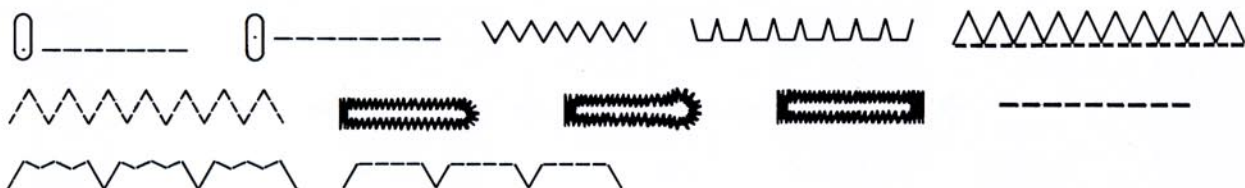
- このミシンは、針棒切り離し機構により、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布地を送ります。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

- 運転中に停電が発生した場合
- ・ 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
- ・ 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

模様一覧

※模様は全て実寸大です。

基本実用

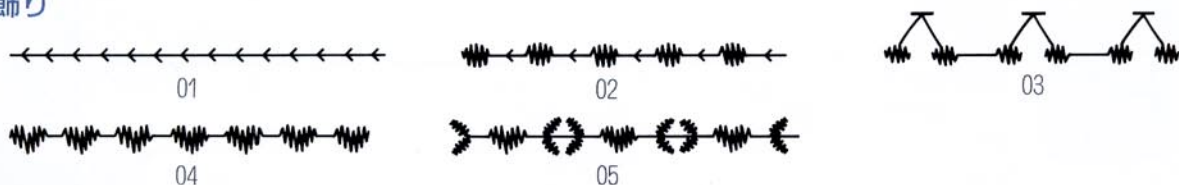


模様

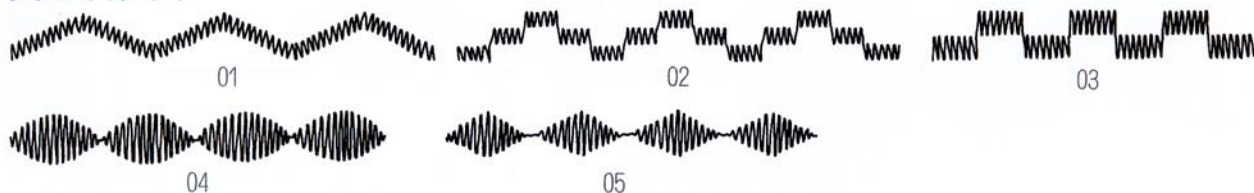
●ワンポイント



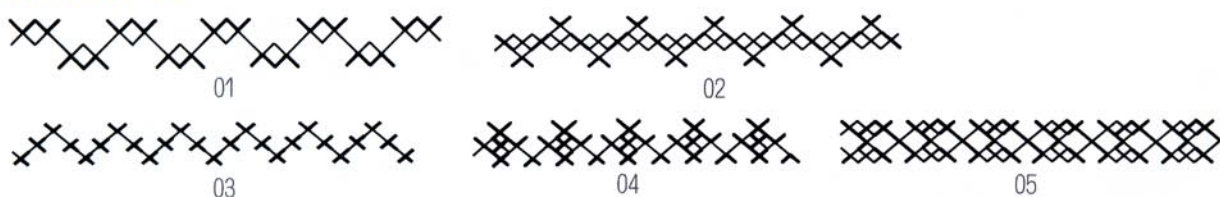
●飾り



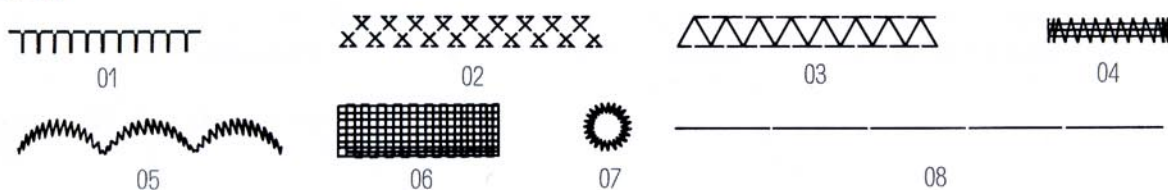
●サテステッチ



●クロスステッチ



●実用



ひらがな

●よこ／たて

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ		
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43		
わ	を	ん	ゝ	ゑ	っ	ゃ	ゅ	ょ						
44	45	46	47	48	49	50	51	52						
&	?	!	□	≡	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67

アルファベット

●ブロック体

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	&	?	!	□
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
□	≡	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42			

●筆記体

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M			
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13			
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z			
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26			
&	?	!	.	-	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください。)
- それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

北海道事業所	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631
東北事業所	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
関越事業所	〒330 大宮市仲町1-124-2	TEL:(048)648-3121
東京事業所	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3281-4204
中部事業所	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3193
関西事業所	〒542 大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL:(06) 252-1797
中国事業所	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3762
四国事業所	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7342
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3894
沖縄事業所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511

①ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467

TEL:(052)824-2511(代表)